

栃木県立美術館[年報]

令和6年度 ————— 2024年度

No.52

目 次

美術館概要	3
企画展		
(1) 高橋由一から黒田清輝へ —明治洋画壇の世代交代劇—	6
(2) ベル・エポック—美しき時代 パリに集った芸術家たち ワイズマン&マイケルコレクションを中心に	11
(3) 水墨の魔術師 浦上玉堂 真の文人画家、ここにあり 岡山県立美術館コレクション —倉敷大原家伝来受贈作品 関東初公開！	26
(4) よむ あむ うつす 勝城蒼鳳 —人間国宝に訊く竹の道	33
常設展示		
(1) コレクション展Ⅰ	はじまりの美術 40
(2) コレクション展Ⅱ	ひんやり美術館 46
(3) コレクション展Ⅲ	国立美術館 コレクション・プラス 刑部人とギュスターヴ・クールベ 風景画家たちの眼 53
(4) コレクション展Ⅳ	明治・大正の絵画 58
諸 表		
1. 展覧会事業	64
2. 普及教育事業	66
3. 所蔵作品集計表	70
4. 美術館利用者数表	70
新収蔵美術資料	71
美術資料貸出状況	74
学芸員研究業績等	77
名 簿	79

■ 概 要

沿革

昭和43年－1968

- 12月 ー 第121回栃木県議会定例会において美術館建設について要望あり。

昭和44年－1969

- 3月 ー 美術館建設について基本構想樹立
基本構想に基づき、建設準備調査に入る。
- 7月 ー 栃木県立美術館建設委員会を結成、調査を開始、宇都宮市桜4丁目に敷地決定
- 9月 ー 設計者を川崎清氏に決定

昭和45年－1970

- 3月 ー 全国主要美術館実態調査
- 6月 ー 設計構想

昭和46年－1971

- 2月 ー 清水建設と工事請負契約
- 5月 ー 建設委員会を発展的に解散し美術館運営準備委員会を結成
- 7月 ー 起工式
開館記念展事業の決定
- 8月 ー 本体基礎工事着手

昭和47年－1972

- 5月 ー 文部省において社会教育施設補助金として3,000万円を交付決定
- 7月 ー 栃木県立美術館条例制定公布
栃木県美術館職員発令
本体工事完了、外構工事着手

- 11月2日 ー 竣工式・開館式および開館記念特別企画「栃木県の美術」展特別観覧

- 11月3日 ー 一般公開

昭和56年－1981

- 10月24日 ー 常設展示館開館

昭和57年－1982

- 3月26日 ー 収蔵庫増築完了

平成4年－1992

- 11月1日 ー 開館20周年記念「太陽と風と雨」展開催

平成7年－1995

- 11月6日 ー 改修工事のため休館
～平成8(1996)年10月11日まで

平成9年－1997

- 4月 ー 「バーナード・リーチ展」をはじめ当年度の企画展を、開館25周年記念展として開催

平成10年－1998

- 4月 ー 知事部局(生活環境部文化振興課)と教育委員会事務局(生涯学習課)の共同所管となる。

平成19年－2007

- 3月14日 ー 耐震改修工事のため休館
～平成20(2008)年3月31日まで

平成23年－2011

- 6月 ー 常設展示室LED照明設置

平成24年－2012

- 通年 ー 「栃木に生きる一風土・ひと・芸術一」をはじめ当年度の企画展を、開館40周年企画として開催

- 7月 ー 企画展示室・集会室 LED照明設置

平成29年－2017

- 1月 ー エレベーター改修工事のため休館

令和4年－2022

- 10月 ー 開館50周年記念「印象派との出会いーフランス絵画の100年ひろしま美術館コレクション」開催。

令和4年－2022

- 4月 ー 知事部局(生活文化スポーツ部文化振興課)の所管となる。

基本的性格

社会教育施設である。同時に学校教育に利用されることを目的とする。

利用者の学習に役立つ調査・研究、収集・保存、教育・普及活動を行う。また自由な精神が解放されるよう、美的な環境を整備する。

運営方針

①栃木県関係の美術資料、美術作家に関する研究調査、資料の収集保存、展示普及活動を運営の基本とする。

②国内外の美術史および美術状況に幅広く対応する。

③県民が利用しやすい美術館とするため、地域の美術文化の向上、ならびに地域住民の美術に関する生涯学習等に役立つ事業を行う。

④学校教育との連携を重視する。

⑤常に美観を保ち、利用者の心が解放される憩いの場となるよう配慮する。

⑥栃木県立美術館友の会、関係諸機関との連絡協調を密にする。

建 築

本館設計:

川崎清+財団法人建築研究会

協力デザイナー:

家具/柳宗理

照明/石井幹子

テキスタイル/太田麗子

造園/吉村元男・矢野興

施 工:

建築/清水建設株式会社

電気設備/日本電設工業株式会社

空調衛生/日本熱学工業株式会社

家具/株式会社天童木工

新館設計

川崎清+環境・建築研究所

構造/空間設計1級建築士事務所

設備/建築設備設計研究所

施 工:

建築/清水建設株式会社

機械設備/須賀工業株式会社

電気設備/日本電設工業株式会社

敷地面積(m²) 12,626.83

site area

各階床面積(m²)

	本館 main bldg.	新館 new wing	保管庫棟 storage bldg.	計 total
地階 besement	1,017.45	—	—	1,017.45
1階 1st floor	2,014.70	985.69	408.69	3,409.08
2階 2nd floor	148.58	725.61	200.78	1,074.97
3階 3rd floor	107.36	—	—	107.36
4階 4th floor	258.02	—	—	258.02
5階 5th floor	286.82	—	—	286.82
塔屋 penthouse	41.12	—	—	41.12
計 total	3,874.05	1,711.30	609.47	6,194.82

建築面積(m²)

construction area

本館 main bldg.	新館 new wing	保管庫棟 storage bldg.	計 total
2,628.23	1,041.54	416.20	4,085.97

建築系統別床面積(m²)

area on system

	本館 main bldg.	新館 new wing	保管庫棟 storage bldg.	計 total
展示系 galley (企画展示室) (常設展示室)	1,297.58	1,292.03	—	2,589.61 (41.8%)
保管系 storage	314.24	—	600.15	914.39 (14.8%)
研究系 study	494.46	57.38	—	551.84 (8.9%)
事務管理系 office	338.90	24.60	—	363.50 (5.9%)
機械系 machine	552.68	124.32	9.32	686.32 (11.1%)
その他供用部 others	876.19	212.97	—	1,089.16 (17.6%)
計 total	3,874.05	1,711.30	609.47	6,194.82

利用案内

観覧時間: 午前9時30分から午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

休館日: 月曜日(月曜日が祝日、振替休日、6月15日にあたる場合は開館して火曜日休館)、12月28日から1月4日まで

無料日: 6月15日(県民の日)、11月3日(文化の日)、6月の第2土曜日およびその翌日(県民の日関連無料日)

美術館までの道順: JR宇都宮駅、東武宇都宮駅から関東バス作新学院・駒生行にて桜通十文字下車

友の会: 講演会、講習会などの行事を開催。会員が年会費を納め入会することにより、美術館の入館料を友の会が負担する(入会は随時)。

■企画展

高橋由一から黒田清輝へ —明治洋画壇の世代交代劇—

Generational change from TAKAHASHI
Yuichi to KURODA Seiki



ポスター



図録

会期	=	令和6(2024)年4月20日(土)～6月16日(日)
主催	=	栃木県立美術館
後援	=	朝日新聞宇都宮総局、宇都宮コミュニティFM ミヤラジ、NHK宇都宮放送局、エフエム栃木、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、とちぎテレビ、栃木放送、日本経済新聞社宇都宮支局、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局

明治27年、明治時代の洋画壇を切り開いた高橋由一が没した。その前年の明治26年、フランスで洋画を学んだ黒田清輝が帰国し、「外光派」と呼ばれる新しい洋画を日本にもたらした。ともに「近代洋画の父」とも称される由一と黒田は、まるで交代劇を演じるかのように入れ替わったのである。幕末から明治初期に来日した外国人画家に絵を学び「旧派」や「脂派」と呼ばれる画派となった由一の世代と、欧米に留学し本場の文化に触れながら直接油絵を学び「新派」や「紫派」、「外光派」と呼ばれた黒田の世代には、同じ明治洋画でありながら大きな断絶がある。本展では、高橋由一と黒田清輝の相違を比較しながら、両者の師弟や同時代画家らの作品も併せて展示し、明治洋画壇で起きていた世代交代劇を検証した。

高橋由一《鮭図》(山形美術館蔵)や黒田清輝《婦人像(厨房)》(東京藝術大学大学美術館蔵)をはじめとした有名作品に加え、重要文化財の原田直次郎《靴屋の親爺》(東京藝術大学大学美術館蔵)、山形県指定文化財の高橋由一《山形市街図》(山形県蔵)といった重要作品2点も展示することができ、来館者の増加につなげることができた。また由一と黒田をそれぞれ専門的に学んだ学芸員2名による論考を掲載した図録の刊行や、近代日本美術史を専門とする古田亮氏(東京藝術大学大学美術館教授)による講演の実施により、展覧会のテーマをさらに深く掘り下げることができた。

観覧者数	9,362人
開催日数	50日(1日平均 187人)
展示点数	70点(一部展示替えあり)
図録販売	267冊
担当者	志田康宏(主任)

作成印刷物

1)広報宣伝物

ポスター(B2)、チラシ(A4)

2)図録『高橋由一から黒田清輝へ—明治洋画壇の世代交代劇—』

体裁 : A5判、111頁、図版99点
内容 : テキスト

志田康宏「高橋由一の生涯とその画業—洋画壇を切り開いた先駆者」
清水友美「黒田清輝の生涯とその画業—公と個のあいだを生きた画家」

図版、作品解説、略年譜、出品リスト

編集 : 志田康宏
デザイン : 三木俊一
制作 : 文京図案室

発行 : 栃木県立美術館

関連企画

1) 講演会「明治洋画の変革 和製油画から日本洋画へ」

日時 : 6月9日(日) 14時～15時30分
講師 : 古田 亮氏(東京藝術大学大学美術館教授)
会場 : 集会室

2) ギャラリー・トーク(担当学芸員による解説)

日時 : 4月20日(土)15時30分～16時30分
5月12日(日)14時30分～15時30分
5月26日(日)、6月2日(日)14時～15時

出品リスト

※一部展示替えあり(前期展示:4月20日～5月19日 後期展示:5月21日～6月16日)

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵先名	備考
1-1	原田直次郎	高橋由一像	1893(明治26)年	カンヴァス・油彩	東京藝術大学	
2-21	久米桂一郎	黒田清輝肖像	制作年不詳	カンヴァス・油彩	久米美術館	

プロローグ

第1章【高橋由一とその時代】

高橋由一の油彩画

1-2	高橋由一	寒河江市隠像	1887-88 (明治20-21)年頃	カンヴァス・油彩	山形美術館寄託	
1-21	高橋由一	鐸木西美像	1881(明治14)年	カンヴァス・油彩	福島県立美術館	
1-3	高橋由一	驟雨図	1877(明治10)年頃	カンヴァス(板貼)、 油彩	栃木県立美術館	
1-5	高橋由一	中洲月夜の図	1878(明治11)年	カンヴァス・油彩	宇都宮美術館	
1-4	高橋由一	風景(鳥海山)	1880年代	カンヴァス・油彩	郡山市立美術館	
1-17	高橋由一	栗子山隧道図(西洞門・小)	1881(明治14)年	カンヴァス・油彩	那須野が原博物館	
1-7	高橋由一	明治天皇・皇后尊影	1892(明治25)年	水彩・絹/対幅	郡山市立美術館	前期展示
1-6	高橋由一	洋人捕象	1874(明治7)年	絹本墨画	東京国立博物館	後期展示
1-25		高橋由一写生帖1	制作年不詳		東京藝術大学	場面替えあり
1-23		スケッチブック	制作年不詳	紙・水彩他	東京藝術大学	場面替えあり
1-26		高橋由一写生帖2	制作年不詳	紙・墨画淡彩	東京藝術大学	場面替えあり
1-22		肖像写真「故高橋由一享年 六十七歳像」	1894(明治27)年頃	写真	郡山市立美術館	
1-27		天繪塾門人牒	制作年不詳	洋紙写生帳	東京藝術大学	
1-24-4		高橋由一油画史料 第四冊	制作年不詳	折本	東京藝術大学	場面替えあり

1-8 高橋由一 鮭図 1878(明治11)年頃 カンヴァス・油彩 山形美術館寄託

高橋由一と三島通庸

1-15	高橋由一	山形市街図	1881-82 (明治14-15)年	カンヴァス・油彩	山形県	山形県 指定文化財
1-16	菊地新学	県庁前通り	1881(明治14)年	写真額	山形市郷土館	
1-18	高橋由一	栗子山昔時景	1881(明治14)年頃	カンヴァス・油彩	福島県立美術館	
1-19-1	高橋由一	東北新道石版画 栃木県庁 の図	1884(明治17)年	絹・石版画、手彩色	栃木県立美術館	
1-19-2	高橋由一	東北新道石版画 栃木県塩谷郡横川村男鹿 川に架する橋梁の図	1884(明治17)年	絹・石版画、手彩色	栃木県立美術館	
1-19-3	高橋由一	東北新道石版画 栃木県那須郡薄葉村新道 の内帯川に架する橋梁及び 切り割りを北より望む図	1884(明治17)年	絹・石版画、手彩色	栃木県立美術館	
1-19-4	高橋由一	東北新道石版画 山形県庁 の図	1884(明治17)年	絹・石版画、手彩色	栃木県立美術館	
1-19-5	高橋由一	東北新道石版画 山形県南村山郡吉原村新 道の内酢川に架する常磐橋 の図	1884(明治17)年	絹・石版画、手彩色	栃木県立美術館	
1-19-6	高橋由一	東北新道石版画 山形県西置賜郡沼沢村字 東ね松峠半隧道の図	1884(明治17)年	絹・石版画、手彩色	栃木県立美術館	
1-19-7	高橋由一	東北新道石版画 山形県最上郡塩根峠より雄 勝峠を望む図	1884(明治17)年	絹・石版画、手彩色	栃木県立美術館	
1-19-8	高橋由一	東北新道石版画 福島県東蒲原郡字本尊岩 隧道口を赤川水上より望む 図	1884(明治17)年	絹・石版画、手彩色	栃木県立美術館	
1-19-9	高橋由一	東北新道石版画 福島県信夫郡福島酢(須)川 に架する信夫橋の図	1884(明治17)年	絹・石版画、手彩色	栃木県立美術館	
1-19-10	高橋由一	東北新道石版画 福島県南会津郡湯野上村 新道の内小野川に架する橋 梁の図	1884(明治17)年	絹・石版画、手彩色	栃木県立美術館	

高橋由一と外国人画家たち

1-14	アントニオ・フォン タネージ	川辺の二頭の牛	1865(慶応元)年頃	板・油彩	千葉県立美術館	
1-12	アントニオ・フォン タネージ	十月、牧場の夕べ	1860(万延元)年	カンヴァス・油彩	千葉県立美術館	
1-13	アントニオ・フォン タネージ	羊飼いの少女	制作年不詳	板・油彩	千葉県立美術館	

1-10	チャールズ・ワーグマン	茶屋女	1876(明治9)年	カンヴァス・油彩	栃木県立美術館
1-9	チャールズ・ワーグマン	若い女の肖像	制作年不詳	板・油彩	栃木県立美術館
1-11	チャールズ・ワーグマン	海岸風景	制作年不詳	カンヴァス・油彩	栃木県立美術館
1-28	ジョルジュ・ピゴ	《熱海の海岸》あるいは《熱海にて、日本の漁師たち》	1888(明治21)年頃	カンヴァス・油彩	宇都宮美術館

高橋由一とその時代

1-24-1		高橋由一油画史料 第一冊	制作年不詳	折本	東京藝術大学	場面替えあり
1-24-2		高橋由一油画史料 第二冊	制作年不詳	折本	東京藝術大学	場面替えあり
1-24-3		高橋由一油画史料 第三冊	制作年不詳	折本	東京藝術大学	場面替えあり
1-24-5		高橋由一油画史料 第五冊	制作年不詳	折本	東京藝術大学	場面替えあり
1-29	原田直次郎	靴屋の親爺	1886(明治19)年	カンヴァス・油彩	東京藝術大学	重要文化財
1-31	二世五姓田芳柳	勿来海濱	1929(昭和4)年	カンヴァス・油彩	茨城県近代美術館	
1-30	五姓田義松	朝陽の富士	1903-05 (明治36-38)年頃	カンヴァス・油彩	茨城県近代美術館	
1-32	浅井忠	収穫	1901(明治34)年	カンヴァス・油彩	宇都宮美術館	
1-33	浅井忠	藁屋根	1887(明治20)年頃	カンヴァス・油彩	千葉県立美術館	
1-34	浅井忠	婦人像	1907(明治40)年	カンヴァス・油彩	千葉県立美術館	
1-20	高橋由一	司馬江漢像	1875-76 (明治8-9)年頃	カンヴァス・油彩	東京藝術大学	

第2章【黒田清輝とその時代】

黒田清輝とラファエル・コラン

2-8	黒田清輝	久米桂一郎肖像	1897(明治30)年	板・油彩	久米美術館
2-7	黒田清輝	画室にての久米桂一郎	1889(明治22)年	カンヴァス・油彩	久米美術館
2-14	黒田清輝	舟	1889-90 (明治22-23)年	カンヴァス・油彩	東京国立博物館
2-4	黒田清輝	花野	1907-15 (明治40-大正4)年	カンヴァス・油彩	東京国立博物館
2-5	ラファエル・コラン	田園恋愛詩	1882(明治15)年	カンヴァス・油彩	東京藝術大学
2-3	久米桂一郎	晩秋	1892(明治25)年	カンヴァス・油彩	久米美術館
2-9	黒田清輝	自画像(ベレー帽)	1897(明治30)年	板・油彩	久米美術館
2-1	山本芳翠	花化粧	明治時代・19世紀後半	カンヴァス・油彩	東京国立博物館

黒田清輝の油彩画

2-10	黒田清輝	グレーの水車場	1890(明治23)年頃	板・油彩	久米美術館
2-11	黒田清輝	箱根宿	1896(明治29)年	カンヴァス・油彩	茨城県近代美術館
2-12	黒田清輝	庭の雪	1905(明治38)年	板・油彩	茨城県近代美術館
2-13	黒田清輝	風景	1920(大正9)年	板・油彩	茨城県近代美術館
2-17	黒田清輝	裸体・女(全身)	1889(明治22)年	カンヴァス・油彩	東京国立博物館
2-16	黒田清輝	裸体・男(半身)	1889(明治22)年	カンヴァス・油彩	東京国立博物館
2-15	黒田清輝	寺島宗則像	1900(明治33)年	カンヴァス・油彩	東京国立博物館
2-6	黒田清輝	女の顔(習作)	1896(明治29)年頃	カンヴァス・油彩	山形美術館寄託
2-19	黒田清輝	夏図習作(横たわる女)	1892(明治25)年頃	カンヴァス・油彩	宇都宮美術館
2-18	黒田清輝	婦人像(厨房)	1892(明治25)年	カンヴァス・油彩	東京藝術大学

黒田清輝とその時代

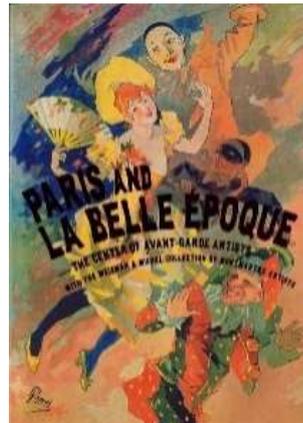
2-20	久米桂一郎	睡蓮	制作年不詳	板・油彩	久米美術館
2-2	久米桂一郎	裸婦立像(習作)	1889(明治22)年	カンヴァス・油彩	久米美術館
2-23	青木繁	幸彦像	1907(明治40)年	カンヴァス・油彩	栃木県立美術館
2-22	青木繁	わだつみのいるこの宮 下 絵	1907(明治40)年	カンヴァス・油彩	栃木県立美術館

ベル・エポック—美しき時代
 パリに集った芸術家たち
 ワイズマン&マイケルコレクションを中心に

Paris and La Belle Époque
 -The Center of Avant-Garde Artists with The
 Weisman & Michel Collection of Montmartre Artists



ポスター



図録

会 期	= 令和6(2024)年7月13日(土)~9月8日(日)
主 催	= 栃木県立美術館
協 力	= 日本航空
企 画 協 力	= アートインプレッション
後 援	= 在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ、朝日新聞宇都宮総局、宇都宮コミュニティFM ミヤラジ、NHK宇都宮放送局、株式会社エフエム栃木、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、株式会社とちぎテレビ、株式会社栃木放送、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局

本展は、フランスにおいて文化芸術が華やいだ時代、ベル・エポックを舞台にした映画「ディリリとパリの時間旅行」に触発されて企画された。映画の主人公である少女・ディリリは、とある事件の謎を解き明かす中で、ベル・エポック期に活躍した芸術家や科学者らと出会い、彼らの力を借りて事件解決へと向かっていく。本展においても、映画に登場する芸術家を中心に、パリの街中を賑わしたポスターやファッション、生活を彩る家具や工芸を紹介し、当時の空気を振り返る。フランス側では美術史家のフィリップ・デニス・ケイト氏を監修者に迎え、デイヴィッド・E. ワイズマン&ジャクリーヌ・E. マイケル夫妻のコレクションを中心に、また同コレクション管理者のノルマ・ティボー氏の協力を得て、充実した内容の展示が実現した。当館ではあまり展示機会のないドレスやアクセサリーの出品があったこと、女性の活躍を紹介するセクションを設けたためか、女性や若い世代の支持を得た。ベル・エポックは統一的な様式がなく、取り扱うジャンルも多岐に渡り、多様な文化の発展が見られる一方で混迷を極める点もあるが、近代フランス美術史を専門とする喜多崎親教授(成城大学)の講演会では、時代の様相が読み解かれ、展覧会の補助線となった。会期中に開催されたパリ五輪の効果もあってか、あまり美術館には来ない来館者にも好評だった。

観 覧 者 数	6,548人
開 催 日 数	50日(1日平均131人)
展 示 点 数	264点(一部展示替えあり)
図 録 販 売	150冊
担 当 者	大城菜里恵(主任)、橋本慎司(副館長兼学芸課長)

作 成 印 刷 物

1)広報宣伝物

ポスター(B2)、チラシ(A4)

2)図録

体 裁	: A5判、296頁、図版 約300点
編 集	: 下東佳那(山梨県立美術館)、橋本慎司(栃木県立美術館)、大城菜里恵(栃木県立美術館) 萩原敦子(パナソニック汐留美術館)、宮内真理子(パナソニック汐留美術館)、近森愛花(パナソニック汐留美術館)、古賀暁子(パナソニック汐留美術館)、福富幸(岡山県立美術館)、市川飛砂(アートインプレッション)、森本真梨子(アートインプレッション)
印 刷	: TOPPAN
発 行	: アートインプレッション

関 連 企 画

1) 講演会「ベル・エポック 交錯する諸芸術の時代」

日 時 : 8月11日(日) 14時~15時30分
 講 師 : 喜多崎 親氏(成城大学文芸学部芸術学科教授)
 会 場 : 集会室

2) ギャラリー・トーク(担当学芸員による解説)

日 時 : 7月13日(土)15時30分~
 8月31日(土)14時~

出品リスト

※展示番号はカタログ番号に準ずる

※欠番している作品は他会場で出品

※所蔵先名の「*」はすべてデイヴィッド・E.ワイズマン&ジャクリーヌ・E.マイケル蔵

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	所蔵先名
-----	-----	-----	-----	-------	--------	------

1章:古き良き時代のパリー街と人々

1	エドモン・ランペルー	モンマルトルから望むパリの屋根	1895年頃	油彩、カンヴァス	55×46	*
3	ピエール=オーギュスト・ルノワール	ジャンヌ・ボドーの肖像	1896年	油彩、カンヴァス	24×19	個人蔵 (山梨県立美術館寄託)
4	ピエール=オーギュスト・ルノワール	帽子を被った二人の少女	1890年頃	パステル、紙	54.5×42	
5	ジョージ・ラクス	通りの情景	1900年頃	油彩、カンヴァス	55×65	*
6	ルイ・アイエ	パリの通りの情景	1893年	油彩、カンヴァス	19.5×20	*
7	アンリ・ソム	ギャラリーにいる女性	1900年頃	パステル、紙	48.5×32.5	*
8	トマス・ジュリオ・レアル・ダ・カマラ	日本のうちわを持つ女性	1905年頃	チョーク、インク、水彩、紙	51.8×42.9	*
9	ルネ・ジョルジュ・エルマン=ポール	二人の女性と子ども	1895年頃	水彩、紙	35×28	*
10	ルネ・ジョルジュ・エルマン=ポール	買い物に出かける美しいユダヤ人女性	1896年	リトグラフ、水彩、インク、紙	36×24	*
11	エドゥアール・ソニエ	読書	1900年頃	グアッシュ、クレヨン、黄色の紙	32×25.3	*
12	エドゥアール・ソニエ	ポスターを眺める家族	1900年頃	インク、グアッシュ、水彩、鉛筆、コンテ(サンギーヌ)、紙	50×40.3	*
13	エドゥアール・ソニエ	女性の横顔	1900年頃	パステル、水彩、紙	31.2×24	*
14	アンリ・ドトゥーシュ	サロン・デ・サン	1896年	リトグラフ、紙	64×50	*
15	ルイ・アンクタン	ヴェールをまとった女性	1890年	油彩、カンヴァスに裏打ちされた紙	65.2×46.2	*
16	マクシム・デトマス	タバコを持つ白いドレスの上品な女性	制作年不詳	木炭、水彩、紙	47.5×47.5	*

17	マクシム・デトマス	座る女性	1900年頃	リトグラフ、紙	39.5×53	*
19		デイ・ドレス	1872年頃	絹		文化学園服飾博物館
23		帽子	1910年頃	ストロー、絹	32×33.5×11.8	文化学園服飾博物館
27		こども服	1890-1900年代	木綿、カットワーク		文化学園服飾博物館
30		ペンダント	1900-10年頃	メタル、エナメル	ヘッド部分: 6.3×3.2	文化学園服飾博物館
31		ペンダント	1900-10年頃	メタル、シェル、エナメル	ヘッド部分: 6.5×7.6	文化学園服飾博物館
32		ペンダント	19世紀末	メタル、シェル、エナメル	飾り部分: 9×11	文化学園服飾博物館
33		バックル	1900-10年代	メタル、ラインストーン、エナメル	4×8	文化学園服飾博物館
34		バックル	1900-10年代	メタル	4.5×11	文化学園服飾博物館
35		バックル	1900-10年代	メタル、ラインストーン、エナメル	5.5×8	文化学園服飾博物館
36		バックル	1900-10年代	メタル、ガラス	4.6×8.9	文化学園服飾博物館
37		バックル	1900-10年代	メタル、ラインストーン	3.5×7	文化学園服飾博物館
39-1	【前期】アナイス・トゥドゥーズ	グラドズ夫人の装い、プロヴァンス通り67番地(Pl. 13) 『ラ・モード・イリュストレ:ジュルナル・ド・ラ・ファミーユ』より 31巻(1-52号)、1890年1月5日-1890年11月28日			37×28×5	文化学園大学図書館
39-2	【後期】アナイス・トゥドゥーズ	ルーヴル百貨店のこども服(Pl. 17) 『ラ・モード・イリュストレ:ジュルナル・ド・ラ・ファミーユ』より 31巻(1-52号)、1890年1月5日-1890年11月28日			37×28×5	文化学園大学図書館
40-5	【前期】イザベル・デグランジュ	クーシネ夫人とL. プレ夫人の装い、リジェ通り43番地(Pl. 26) 『ラ・モード・イリュストレ:ジュルナル・ド・ラ・ファミーユ』より 35巻(1-52号)、1894年1月7日-1894年12月30日			37×28×5	文化学園大学図書館
40-6	【後期】アナイス・トゥドゥーズ	Cl. ジョワイユーズ夫人の店の装い、コリセ通り44番地(Pl. 33)『ラ・モード・イリュストレ:ジュルナル・ド・ラ・ファミーユ』より 35巻(1-52号)、1894年1月7日-1894年12月30日			37×28×5	文化学園大学図書館
42	アレクサンドル・カバネル	狩の女神ディアナ	1882年	油彩、カンヴァス	106.5×75.5	栃木県立美術館
43	マイセン磁器	染付色絵ランブレカン模様花卉文フォーク、ナイフ	1725-30年頃	磁	柄長7.7~7.8	栃木県立美術館

44	マイセン磁器	色絵花卉図喫茶用セルヴィス	1765年頃	磁		鉢高9.5×幅20.2、シュガーボット幅11.3、楕円小皿幅17.5(2枚)	栃木県立美術館
45	マイセン磁器	青彩鱗模様色絵樹下人物図カップ&ソーサー	1760年頃	磁		カップ ^φ 4.6×9.8 ソーサー径13.4	栃木県立美術館
46	マイセン磁器	青彩鱗模様色絵樹下人物図カップ&ソーサー	1760年頃	磁		カップ ^φ 4.6×9.8 ソーサー径13.4	栃木県立美術館
47	マイセン磁器	色絵貼花鳥果実飾蓋付瓶	19世紀中頃から後半	磁		37.8×21.6(2ヶ)	栃木県立美術館
48	マイセン磁器	色絵樹下少年像高脚小鉢付センターピース	1770年頃	磁		39×44×31	栃木県立美術館
50	マイセン磁器	色絵花飾ブツ坐像燭台「四大元素の寓意」	1900年頃	磁		81.7×46.5(2ヶ)	栃木県立美術館
52	エミール・ガレ	蝶文栓付瓶	1894-1904年頃	被せガラス、マルケトリー、グラヴェール、アップリケ		23.2×φ13.7×6.2	株式会社神谷美術
53	ドーム兄弟	ばら文花瓶	1910年	被せガラス、異色熔かし込み、エッチング、グラヴェール		32.5×φ14.2	株式会社神谷美術
54	ドーム兄弟(エドモンド・ラシュナルのモデルに基づく)	ヤドリギ文リキユールガラス&カラフェ	1901年	エナメル彩、金彩		リキユールガラス: 9.4 × φ 4.1 カラフェ: 30.4 × φ 12.3	株式会社神谷美術
55	ドーム兄弟(エドモンド・ラシュナルのモデルに基づく)	ヤドリギ文シャンパンガラス	1901年	エナメル彩、金彩		12.6×φ9	株式会社神谷美術
56	ジョルジュ・ルオー	夜の風景またはよきサマリヤ人	1897年	木炭、水彩、パステル、紙		68.9×95.9	パナソニック汐留美術館
58	ウジェーヌ・カリエール	母性	1892年	パステル、木炭、紙		61.5×47.5	*
59	フェルナン・ペレーズ	小さなレモン売り	1890年	油彩、パネル		25×19	*
60	アンリ・ソム	扇を持った女性	1895年頃	水彩、紙		41.6×31.3	*
61	ルイ・ルグラン	扇を持つ上品な女性	1899年	パステル、紙		64×49	*
62	ジョルジュ・ボッティエーニ	裸の女性の肖像	1900年頃	水彩、クレヨン、紙		54×47	*
63	ジョルジュ・ボッティエーニ	狐の毛皮をまとった扇を持つ女性	1901年	油彩、カンヴァス		41×33	*
64	アンリ=ガブリエル・イベルス	髪をとかす女性	1895年頃	パステル、紙		37×28	*
65	リュシアン・ギラン・ド・セヴォラ	ムーラン・ルージュの舞踏会的情景	1895年頃	グアッシュ、灰色の墨、鉛筆、紙		31×21.5	*

66	アンドレ・ドゥヴァンベズ	理解されない者(習作)	1904年	インク、木炭、パステル、紙	39×31	*
----	--------------	-------------	-------	---------------	-------	---

2章:総合芸術が開花するパリ

67	ヨハネス・ドーンベルゲ	モンマルトルの女性	1891年	油彩、カンヴァス	24×14	*
68	マリウス・エステイエヌ	ムーラン・ド・ラ・ギャレット	1902年	水彩、紙	30×22	*
69	ウジェーヌ・グラッセ	モンマルトルの星夜	1897年	水彩、パステル、紙	25×35	*
70	ルイ・アベル=トリュシェ	パリの大通りの夜景	制作年不詳	油彩、カンヴァス	46×38	*
71	ルイ・アンクタン	イーゼルにむかう自画像	1892年頃	油彩、パネル	22×15.8	*
72	ルイ・アンクタン	クロゼル通り10番地の画家アンクタン	1900年頃	リトグラフ、紙	41×31	*
73	ジュール・シェレ	ムーラン・ルージュ	1889年	リトグラフ、紙	59.5×40	*
74	アンリ・ソム	ムーラン・ルージュの前に佇む女性	1900年頃	水彩、紙	35×25	*
75	テオフィル=アレクサンデル・スタンラン	ムーラン・ルージュで踊るラ・グリュとヴァランタン・ル・デゾッセ	1895年	鉛筆、鉛筆、紙	23.5×50	*
76	ルイ・ルグラン	奇抜なダンス『ジル・ブラス』誌より1891年5月23日刊	1891年	カラー・フォトレリーフ、紙	45.5×65	*
77	ルイ・ルグラン	奇抜なダンス『ジル・ブラス』誌より1891年5月10日刊	1891年	カラー・フォトレリーフ、紙	45.5×65	*
78	ダルヴロ?	ムーラン・ルージュのカンカンの踊り子たち	制作年不詳	パステル、厚紙	48.5×33	*
79	エドゥアール・クテュリエ	ムーラン・ド・ラ・ギャレットまたはムーラン・ルージュ	1895-1900年頃	グアッシュ、厚紙	40×51	*
80	ルイ・ルグラン	バル・ビュリエでのカンカン踊り	1895年頃	グアッシュ、紙	27×21	*
81	マクسيم・デトマス	カフェのテーブルに座る女性	1908年頃	木炭、パステル、水彩、紙	72×48	*
82	エドモン・ランペール	カフェの情景	1900年頃	インク、水彩、クレヨン、紙	48×31.5	*
83		『ル・リール』誌	1895-1909年	フォトレリーフ	32.1×24.8	栃木県立美術館
84	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	イヴェット・ギルベール『ル・リール』誌7号、12頁、裏表紙より	1894年12月22日刊	フォトレリーフ	31×24	*
85	アンリ・ド・トゥールーズ=ロートレック	ポレール『ル・リール』誌16号、12頁、裏表紙より	1895年2月23日	フォトレリーフ	31×24	*
86	レオネット・カピエッロ	イヴェット・ギルベールとフランシスク・サルセー「下着の洗濯は自身の家でなさった方がよろしくってよ！」	1898年	黒チョーク、水彩、紙	64×48.5	*

87	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	ブリュアンはモンマルトルに戻り『オ・バ・ダフ』を歌う	1893年	リトグラフ、紙	138×100	*
88	アンリ＝ガブリエル・イベルス	版画集『ル・カフェ・コンセール』表紙	1893年	リトグラフ、紙	43×32.5	*
89	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	ジャヌ・アヴリル 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
90	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	アンバサドゥールにいるデュカール 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
91	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	アリストイド・ブリュアン 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
92	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	プティ・カジノにいるコーディユー 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
93	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	見物人 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
94	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	風変りなイギリスの喜劇役者 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
95	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	エドメ・レスコ 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
96	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	イヴェット・ギルベール 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
97	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	ポーラ・プレビオン 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
98	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	マダム・アブダラ 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
99	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	メアリー・ハミルトン 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
100	アンリ＝ガブリエル・イベルス	メヴィスト 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
101	アンリ＝ガブリエル・イベルス	カム＝ヒル 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
102	アンリ＝ガブリエル・イベルス	リベール 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
103	アンリ＝ガブリエル・イベルス	ポーリュス 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
104	アンリ＝ガブリエル・イベルス	マルセル・レゲイ 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
105	アンリ＝ガブリエル・イベルス	アンナ・ティボー 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
106	アンリ＝ガブリエル・イベルス	ポラン 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*

107	アンリ=ガブリエル・イベルス	ジャンヌ・ブロック 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
108	アンリ=ガブリエル・イベルス	ウヴラド 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
109	アンリ=ガブリエル・イベルス	フォーリー=ベルジェールでリハーサルをするエミリエヌ・ダランソン 版画集『ル・カフェ・コンセール』より	1893年	リトグラフ、紙	26.5×21	*
110	エドモン・ランペール	イヴェット・ギルパール	1895-1900年頃	油彩、カンヴァス	32.4×24.5	*
111	ルイ・アベル=トリュシェ	ヴァリエテ劇場	1894年頃	油彩、カンヴァス	38×46×2	*
112	フェルディナン・リュネル	カフェ・コンセール(ジャンゼリゼ?)	1887年	パステル、紙	56×50	*
113	テオフィル=アレクサンドル・スタンラン	シャ・ノワール	1896年	カラーリトグラフ、紙	60×36.5	*
114	テオフィル=アレクサンドル・スタンラン	シェ・ブリュアン(キャバレー)におけるアレクサンドル氏	1891年8月7日	ミクストメディア、紙	30×20.5	*
115	シャルル・レアンドル	シャ・ノワールは歩く、ロドルフ・サリスの肖像 『ル・リール』誌より	1895年8月17日刊	フォトレリーフ	31×24	*
116	フェルディナン・バック	シャ・ノワールの影絵	1887年頃-1892年	インク、クレヨン、カラージュ、紙	40×60	*
117	アンリ・リヴィエール	影絵芝居アルバム『聖アントワヌの誘惑(ギユスターヴ・フロバール原作)』	1887年	カラー・ステンシル、フォトレリーフ、紙	25×32×1.5	*
118	アンリ・リヴィエール	影絵芝居アルバム『星への歩み』	1890年	カラー・ステンシル、フォトレリーフ、紙	25×32×1	*
119	ジョルジュ・ティレ=ボニエ	ラパン・アジルの店内	1910年頃	インク、水彩、紙	30×43	*
120	クロード・モネ	サン=タドレスの海岸	1864年	油彩、カンヴァス	30.6×69.5	栃木県立美術館
121	エミール・ガレ	花文香水瓶	1896-1897年頃	被せガラス、エッチング、金彩	8.5×φ2.2	株式会社神谷美術
122	エミール・ガレ	とんぼとスカラベ文香水瓶	1903年	被せガラス、金属酸化物封入、グラヴェール	14.5×9.6×5.2	株式会社神谷美術
123	ドーム兄弟	あざみ文ペン軸	1890-1900年頃	エッチング、シヴレ、エナメル彩、金彩	20.5×φ0.8	株式会社神谷美術
124	ドーム兄弟	あざみ文ペーパーナイフ	1890-1900年頃	エッチング、シヴレ、エナメル彩、金彩	20.5×2×1.5	株式会社神谷美術
125	エミール・ガレ	ししうど文ランプ	1907-1914年頃	被せガラス、エッチング、グラヴェール	67×36.6 傘:13.8×32.7 脚:56.2×36.6	株式会社神谷美術
126	ルイ・マジヨレル	クレマチス文テーブル	1902年	木象嵌	75×φ75	株式会社神谷美術

127	ルイ・マジョレル	藤文椅子	1900年頃	木象嵌	100.5×47×45	株式会社神谷美術
128		《スタンダールからフェリックス・フオールへの書簡》1813年11月9日	1813年		23×18.4	東京外国語大学附属図書館
129		《ジョルジュ・サンドからフランシス・ロールへの書簡》1867年4月11日	1867年		20.5×26.6	東京外国語大学附属図書館
130		ギユスターヴ・フロベール『ボヴァリー夫人』ミシェル・レヴィー・フレール、初版	1857年		18.5×12×2	甲南女子大学図書館
131		《ギユスターヴ・フロベールからエドガール・ラウール＝デュヴァールへの書簡》1891年4月7日	1891年		21×26.8	東京外国語大学附属図書館
132		ピョートル・イリイチ・チャイコフスキーからエドゥアール・コロンスへの書簡 1891年4月7日(推定)	1891年(推定)		17.6×2.1	東京外国語大学附属図書館
133		ジャン＝ポール・サルトルからワルダ・コサキエヴィッチへの書簡、ローマ(推定)			26.9×20.9	東京外国語大学附属図書館
134	アルフォンス・ミュシャ	主の祈り	1899年	リトグラフ、紙	40.6×30	栃木県立美術館
135	モーリス・ドニ A・ド・ヴィニー(詩)	エロア	1917年	木版、色刷、紙	30.8×24.5	栃木県立美術館
136	ジョルジュ・ルオー	シャルル・ボードレールの肖像 『回想録』より	1926年	リトグラフ、紙	21×16.5	山梨県立美術館
138	シャルル・ボードレー ル	『悪の華』1857年、プレ＝マラシ・エド・プロワーズ、初版*私家蔵本	1857年		18.8×12.2×2.2	甲南女子大学図書館
139	シャルル・ボードレー ル	『悪の華』カルマン＝レヴィ社	1903年刊行		18.8×12.3×3.3	パナソニック汐留美術館
142	オディロン・ルドン	時をり人は昔の壘を見つけ出す。 思出が詰められてある その中から魂が蘇って来て 生き生きと迸り出る。(『悪の華』)	1890年(縮小版)	イヴリー法銅版画、紙	13.5×8.2	パナソニック汐留美術館
145	オディロン・ルドン	絶え間なく悪魔が俺の傍らで騒ぎ立てる。(『悪の華』)	1890年(縮小版)	イヴリー法銅版画、紙	9.9×8.4	パナソニック汐留美術館
150	ジョルジュ・ルオー	横向きの裸婦(『悪の華』のために版刻された14図)5)	1926年	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、ドライポイント、紙	33.2×24.3	パナソニック汐留美術館
151	ジョルジュ・ルオー	骸骨(『悪の華』のために版刻された14図)9)	1926年	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、ドライポイント、スレイパー他、紙	35×25.5	パナソニック汐留美術館
157	ジョルジュ・ルオー	自惚れ女(『悪の華』2)	1938年	シュガー・アクアティント、アクアティント、紙	30.5×20.3	パナソニック汐留美術館

162	ジョルジュ・ルオー	(正面向きの)キリスト(『悪の華』9)	1938年	シュガー・アクアティント、紙	29.5×20.5	パナソニック汐留美術館
164	シャルル・ボードレー	『テオフィル・ゴージェ』 プレマラシ・エ・ド・プロワーズ、初版	1859年		18.3×12.8×1.1	甲南女子大学図書館
165	オーギュスト・ロダン	ヴィクトル・ユゴーの肖像	1883年	ブロンズ	55.5×26.5×29	井原市立平櫛田中美術館
166	アンリ・ド・グルー	ヴェルレーヌ	制作年不詳	パステル、紙	66×50	*
167	ポール・ヴェルレーヌ	『呪われた詩人たち』初版 レオン・ヴァニエ、初版、鈴木信太郎文庫より	1884年		18.5×12.3×0.9	獨協大学図書館
168	ポール・ヴェルレーヌ	『サテュルニアン詩集』 アルフォンス・ルメール、初版	1886年		18.5×12×1.5	甲南女子大学図書館
169	エドガー・アラン・ポー、ステファヌ・マラルメ(フランス語訳)、エドゥアール・マネ(挿絵)	『大鴉』 リシャール・レスクリード、レプリカ、鈴木信太郎文庫より	1875年		56.3×40.8	獨協大学図書館
170	ステファヌ・マラルメ、フェリシアン・ロップス(口絵)	『ステファヌ・マラルメ詩集』9集 ラ・ルヴェ・アンデバンダント、限定本(38/47)、鈴木信太郎文庫より 全9篇	1887年		表紙:32.7×25.8 挿画①:31.7×24.8 挿画②:32.8×25.6	獨協大学図書館
171-1	ステファヌ・マラルメ	『半獣神の午後』口絵、花形装飾、章末飾り付き アルフォンス・ドレンヌ、初版レプリカ、鈴木信太郎文庫より	1876年		表紙:31×22 挿絵(半獣神):17.4×24.3	獨協大学図書館
171-2	ステファヌ・マラルメ	『半獣神の午後』口絵、花形装飾、章末飾り付き ラ・ルヴェ・アンデバンダント、再版、鈴木信太郎文庫より	1887年(表紙の印字は1882年)		20×13.5	獨協大学図書館
171-3	ステファヌ・マラルメ	『半獣神の午後』口絵、花形装飾、章末飾り付き レオン・ヴァニエ、鈴木信太郎文庫より	1887年		25×16.7	獨協大学図書館
172	マルセル・ブルースト、マドレーヌ・ルメール(挿絵)、アナートル・フランス(序文)、レイナルド・アーン作4つのピアノ曲	『楽しみと日々』 カルマン・レヴィ社、初版	1896年		30×21.3×2.8	豊島区立鈴木信太郎記念館
173	マルセル・ブルースト	自筆書き込み校正刷「失われた時を求めて」第三篇『ゲルマンの方 I』ガリマール社	1920年頃	インク、青い鉛筆?、紙	98.2×17.2	豊島区立鈴木信太郎記念館
174	ポール・ヴァレリー	『海辺の墓地』 エミール・ポール、限定本(371/556)、鈴木信太郎文庫より	1920年		21.4×15.7	獨協大学図書館

175	ポール・ヴァレリー	『B手帖』 E.シャンピオン、4/130、鈴木信太郎文庫より	1924年		19.4×14.7	獨協大学図書館
176	ポール・ヴァレリー D.ガラニス(挿絵)	『オード』 オ・ザルド、限定本(35/301)、鈴木信太郎文庫より	1927年		33.7×26×1.6	獨協大学図書館

3章:華麗なるエンターテインメント 劇場の誘惑

177	ジュール・シェレ	パントマイム	1891年	リトグラフ、紙	127.5×90	*
178	ジュール・シェレ	コメディイ	1891年	リトグラフ、紙	126×90.5	*
179	アンドレ・ドヴァンベズ	俳優	1900年頃	グアッシュ、水彩、パネル	45×19	*
180	アンドレ・ドヴァンベズ	モンマルトル劇場の初演	1901年	カラーリトグラフ、紙	44.2×57.3	*
181	アンリ=ガブリエル・イベルス	『時代遅れの人々』テアトル・リーブル(自由劇場)のプログラム	1892-1893年頃	リトグラフ、紙	23.7×32	*
182	アンリ=ガブリエル・イベルス	『義務』テアトル・リーブル(自由劇場)のプログラム	1892-1893年頃	リトグラフ、紙	23.7×32	*
183	アンリ=ガブリエル・イベルス	『蜃気楼』テアトル・リーブル(自由劇場)のプログラム	1892-1893年頃	リトグラフ、紙	23.7×32	*
184	アンリ=ガブリエル・イベルス	『眠れる森の美女』『銀婚式』『アハシユエロス』テアトル・リーブル(自由劇場)のプログラム	1892-1893年頃	リトグラフ、紙	23.7×32	*
185	アンリ=ガブリエル・イベルス	『強奪』『開放された女性』テアトル・リーブル(自由劇場)のプログラム	1892-1893年頃	リトグラフ、紙	23.7×32	*
186	ジュール・シェレ	ダンス	1891年	リトグラフ、紙	128×90.5	*
187	ジュール・シェレ	音楽	1891年頃	リトグラフ、紙	128×90.5	*
188	シャルル・モラン	ロイ・フラー(黄色の衣装)	1895年頃	パステル、木炭、紙	61×45	*
189	シャルル・モラン	ロイ・フラー(オレンジ色の衣装)	1895年頃	パステル、木炭、紙	61×46	*
190-1	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『ミミ』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-2	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『彼女は恋している!』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-3	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『彼は恋している!』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-4	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『月へのセレナーデ』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-5	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『海から来た人々』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*

190-6	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『傷ついた心』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-7	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『愛する方法』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-8	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『誠実な女性』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-9	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『過ちの告白』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-10	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『死者の歌』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-11	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『糸車の歌』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-12	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『ベリーダンス』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-13	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『自宅にいましよう』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-14	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『遺体安置所』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-15	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『貧しき人々の死』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-16	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『浪費家の死』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-17	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『ジル=ブラス誌上のささやかな往復書簡』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-18	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『黒いストックキングのワルツ』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-19	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『ペチコート のワルツ』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-20	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『バー27』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-21	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『子どもたち』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-22	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『仲間』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-23	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『田舎っぺ』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-24	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『幼い母親たち』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-25	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『幸運な人々』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-26	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『リュクサンブールの未亡人』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*
190-27	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『ラブレター』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*

190-28	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『お母さん』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*	
190-29	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『現代の母親』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*	
190-30	アンリ=ガブリエル・イベルス	挿絵付き上演目録『ピエロ医師』	1893-1894年	カラー・ステンシル・リトグラフ、紙	28×17.5	*	
191	アンリ=ガブリエル・イベルス	ラ・コスモポリータ リトグラフのための習作	1894年	筆、墨汁、水彩、グアッシュ、紙	27.5×17.5	*	
192	アンリ=ガブリエル・イベルス	嘘 リトグラフのための習作	1893年	パステル、紙	29×21.5	*	
193	アルベール・ギョーム	世紀末 素描集『悲しさと陽気さ』より	1900年頃	水彩、パステル、紙	39×28	*	
194	アルベール・ギョーム	無題(女性) 素描集『悲しさと陽気さ』より	1900年頃	水彩、パステル、紙	39×28	*	
195	アルベール・ギョーム	我らが恋人 素描集『悲しさと陽気さ』より	1900年頃	水彩、パステル、紙	39×28	*	
196	アルベール・ギョーム	通りにて 素描集『悲しさと陽気さ』より	1900年頃	水彩、パステル、紙	39×28	*	
197	アルベール・ギョーム	シャ・ノワール 素描集『悲しさと陽気さ』より	1900年頃	水彩、パステル、紙	39×28	*	
198	アルベール・ギョーム	あなたはとても魅力的 素描集『悲しさと陽気さ』より	1900年頃	水彩、パステル、紙	39×28	*	
199	ピエール・ボナール	ピアノのための家族の情景集 (C.テラス曲)	1893年	リトグラフ、紙	35.5×27.5		栃木県立美術館
49	マイセン磁器	色絵楽奏家族像 「コンサート」	20世紀初頭	磁	22.2×21.8		栃木県立美術館
200	ジョルジュ・ルオー	道化師	1909年	油彩、紙(麻布で裏打ち)	67.4×52.4		パナソニック汐留美術館
201	ジョルジュ・ルオー	踊り子と白い犬	1920-1929年	油彩、紙(麻布で裏打ち)	68×50		パナソニック汐留美術館
203	ジョルジュ・ルオー	曲芸師(『サーカス』2)	1930年	シュガー・アクアティント、アクアティント、紙	30.9×21.3		パナソニック汐留美術館
209	ジョルジュ・ルオー	バレリーナ(『サーカス』8)	1930年	シュガー・アクアティント、アクアティント、紙	30.3×19.8		パナソニック汐留美術館
210	ジョルジュ・ルオー	失脚したイヴⅡ	1912年	ミクストメディア、紙	37.5×28	*	
211	ジョゼフ・ファヴロ	月を持つピエロ	1883年	油彩、カンヴァス	56×38×2	*	
212	ジョゼフ・ファヴロ	シルク・フェルナンドの道化師	1885年頃	油彩、カンヴァス	28×22	*	
213	ピエール・ボナール	曲芸師とサーカスの馬	1890-1892年頃	水彩、紙	31×23	*	
214	アンリ=ガブリエル・イベルス	サロン・デ・サン	1893年	リトグラフ、紙	59.4×40.2	*	
215	アンリ=ガブリエル・イベルス	フーティットとショコラサーカスの情景	1895年頃	インク、グアッシュ、紙	45×62.8	*	

216	アンリ=ガブリエル・イベルス	オーギュスト氏！	制作年不詳	油彩、パネル	27×21.5	*
217	アンリ=ガブリエル・イベルス	サーカスの芸人	制作年不詳	水彩、紙	34.5×32	*
218	リュバン・ド・ボーヴェ	狂気の女王	1895年頃	パステル、紙	61.5×46	*
219	アルマン・ラッセン フォッス	移動サーカスの舞台にて	1895年頃	インク、水彩、グアッシュ、厚紙	32×14	*
220	作者不詳	フランソワ・フラテリーニ	1900年頃	油彩、パネル	35×26	*

4章:女性たちが活躍する時代へ

221	ジョルジュ・ド・フル	鳥と女性、または花の女性	1893-1894年頃	グアッシュ、水彩、クレヨン、紙	100×81	*
222	ルイ・アンクタン	櫛を身につけた女性(ヴァレット夫人の肖像であると推定)	制作年不詳	パステル、カンヴァス	45.5×38	*
223	【前期】アルフォンス・ミュシャ	サラ・ベルナール	1896年	リトグラフ、紙	68×48.7	堺 アルフォンス・ミュシャ館(堺市)
224	【後期】アルフォンス・ミュシャ	トスカ	1899年	リトグラフ、紙	104.4×37	堺 アルフォンス・ミュシャ館(堺市)
225	ルネ・ラリック アルフォンス・ミュシャ (デザイン)	舞台用冠『ユリ』(エドモン・ロスタン作『遠国の姫君』にてサラ・ベルナールが着用)	1895年頃	金属、真珠、ガラス	22×37×21.5	箱根ラリック美術館
226	ルネ・ラリック	公演用プログラム『テオドラ』	1902年	紙、印刷	32.3×24.6	箱根ラリック美術館
227	ルネ・ラリック	メダル「サラ・ベルナール」	1896年	銀	φ 9.5	箱根ラリック美術館
228	エミール・ガレ	サラ・ベルナールに送った花器姉妹品	1899年	被せガラス、エッチング、グラヴェール、火磨き	39.2×φ 16.8	株式会社神谷美術
229	シュザンヌ・ヴァラドン	座る二人の女性	1897年	黒チョーク、パステル、紙	21.5×27	*
230	シュザンヌ・ヴァラドン	ベッドにもたれる裸のルイーズ	1895年	エッチング、紙	25×28.5	*
231	シュザンヌ・ヴァラドン	フルーツ鉢	1917年	油彩、ボール紙	33×40.5	*
232	マルク・シャガール	花束	1911年	油彩、カンヴァス	81.5×64.8	山梨県立美術館
235		イブニング・ドレス	1920年代中頃	木綿、ビーズ、刺繍	89	文化学園服飾博物館
236		イブニング・ドレス	1920年代	絹、ビーズ、刺繍	109	文化学園服飾博物館
242		帽子	1920-1925年頃	絹(ヴェルヴェット)、ウール(フェルト)	9×25×27	文化学園服飾博物館
246		こども服	1900年代	木綿	58	文化学園服飾博物館
249		バッグ	1910年代	ガラスビーズ、編み	29×19	文化学園服飾博物館
250		バッグ	1920年代	ガラスビーズ、ラインストーン、織り	20×13	文化学園服飾博物館

251	ガブリエル・アルジイ ニルソー	ペンダント	1920年代	ガラス、パート・ド・ ヴェール	ヘッド部分: 6.3×6.3 房:9	文化学園服飾博物館
252	ドーム兄弟	ペンダント	1910-1920年 代	ガラス、パート・ド・ ヴェール	ヘッド部分: 9.8×7.4	文化学園服飾博物館
253		バックル	1920年代	メタル、ラインストーン、 プラスチック	2.2×8.3	文化学園服飾博物館
254		バックル	1920年代	メタル、ガラスペースト	3.8×7	文化学園服飾博物館
255		バックル	1920年代	メタル、ラインストーン、 ガラスペースト	2.2×6.2	文化学園服飾博物館
256		バックル	1920年代	メタル	3.4×9	文化学園服飾博物館
257		バックル	1920年代	メタル	4.6×6.3	文化学園服飾博物館
258-1	【前期】ダーティ	《夏のドレス》『パリジャンのスタイル』より リュシアン・ヴォーゲル編 リブレリー・サントラル・デ・ボー ザール、1巻	1915年8月		46×34×1	文化学園大学図書館
258-2	【後期】ダーティ	《絹の気軽なドレス》『パリジャン のスタイル』より リュシアン・ヴォーゲル編 リブレリー・サントラル・デ・ボー ザール、1巻	1915年8月		46×34×1	文化学園大学図書館
259-1	【前期】ドゥーゼ	《夜会に》『優雅なパリっ子』より アシェット、4巻1号	1919年		43×33×1	文化学園大学図書館
259-2	【後期】ウォルト	《結婚式に》『優雅なパリっ子』よ り アシェット、4巻1号	1919年		43×33×1	文化学園大学図書館
260-1	【前期】	(11号)『新しいファッションのアイ デア』より G.-P.ジュマール編 出版社不詳、1巻11号	1922年		33×26×2	文化学園大学図書館
260-2	【後期】	《マルシャルとアルマンの店》 (11号)『新しいファッションのアイ デア』より G.-P.ジュマール編 出版社不詳、1巻11号	1922年		33×26×2	文化学園大学図書館
261-1	エリック・サティ(作 曲)、シャルル・マル タン(挿絵)	『スポーツと気晴らし』(表紙) パブリカシオン・リュシアン・ ヴォーゲル	1914年?		41×45×2	文化学園大学図書館
261-2	エリック・サティ(作 曲)、シャルル・マル タン(挿絵)	『スポーツと気晴らし』 パブリカシオン・リュシアン・ ヴォーゲル	1914年?		41×45	文化学園大学図書館
262	ポール・ボワレ ポール・イリーブ	『ポール・ボワレのドレス』より (Pl.10) ソシエテ・ジェネラル・ダンプレッ ション	1908年		33×30×1	文化学園大学図書館

264	ジョルジュ・バルビエ	最初の軽はずみ『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	1921年	ポシヨワール(ステンシル26×20)		栃木県立美術館
267	ルネ・ラリック	ペンダント「白鳥」	1897-1899年頃	金、エマイユ	5.8×4.5	箱根ラリック美術館
268	ルネ・ラリック	ペンダント	1920年代	ガラス	ヘッド部分: 5.2×4.2	文化学園服飾博物館
269	ルネ・ラリック	ペンダント	1920年代	ガラス	ヘッド部分: 3.8×5.3	文化学園服飾博物館
270	ルネ・ラリック	ブローチ/ペンダント「少女の顔(頭部)」	1896-1897年頃	銀、金属、バロック真珠、エマイユまたはパチネ	8.3×5.3× 1.8	箱根ラリック美術館
271	ルネ・ラリック	ブローチ「ベロニカと少女」	1899年頃	金、エマイユ	3.7×4.4	箱根ラリック美術館
272	ルネ・ラリック	香水瓶「ネヌファール」	1911年	本体:無色ガラス、型吹き成形、部分的にフロスト、パチネ 栓:無色ガラス、プレス成形、部分的にフロスト	12.2×4.1× 4.1	箱根ラリック美術館
273	ルネ・ラリック	香水瓶「彼女たちの魂」ドルセー社	1913年	本体:無色ガラス、型吹き成形 栓:無色ガラス、プレス成形、部分的にフロスト	13×10.2× 4.9	箱根ラリック美術館
274	ルネ・ラリック	香水瓶「美しき季節」ウビガン社	1925年	本体:無色ガラス、型吹きプレス同時成形、パチネ、部分的にフロスト 栓:無色ガラス、プレス成形、パチネ、部分的にフロスト	10×7.2×3	箱根ラリック美術館
275	ルネ・ラリック	ダイニング用センターピース「火の鳥」	1922年	無色ガラス、プレス成形、部分的にフロスト 台座:ブロンズ	44×43.5× 9.6	箱根ラリック美術館
276	ルネ・ラリック	花器「スカラベ」	1923年	色ガラス、型吹き成形、部分的にフロスト	29×26	箱根ラリック美術館
277	ルネ・ラリック	花器「つむじ」(別名「浮き彫りされた渦巻」)	1926年	無色ガラス、プレス成形、黒エナメル彩	20.2×19.8	箱根ラリック美術館
278	ルネ・ラリック	花器「マルシェルブ」(別名「ネフリエの葉」)	1927年	被せガラス(オパールセントガラス+色ガラス)、型吹き成形、パチネ	23×17	箱根ラリック美術館
279	ルネ・ラリック	灰皿「七面鳥」	1925年	色ガラス、プレス成形	6.2×9.8	箱根ラリック美術館
280	ルネ・ラリック	灰皿「犬」	1926年	無色ガラス、プレス成形	8.8×10.2	箱根ラリック美術館
281	ルネ・ラリック	灰皿「ひなぎく」	1929年	色ガラス、プレス成形、フロスト、パチネ	2.2×7.8	箱根ラリック美術館

水墨の魔術師

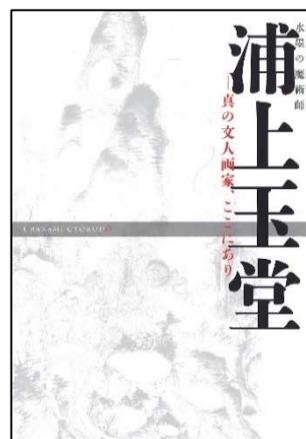
浦上玉堂 真の文人画家、ここにあり

岡山県立美術館コレクション—倉敷大原家伝来
受贈作品、関東初公開！

URAKAMI Gyokudo—Original Technique of Ink



ポスター



図録

会期	=	令和6(2024)年10月26日(土)～12月22日(日)
主催	=	栃木県立美術館
後援	=	朝日新聞宇都宮総局、宇都宮コミュニティFM ミヤラジ、NHK宇都宮放送局、株式会社エフエム栃木、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、株式会社とらぎテレビ、株式会社栃木放送、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局

浦上玉堂(1745-1820)は、岡山藩の支藩鴨方藩士として生まれ、「自分は絵の描き方を知らず、気ままに描くのが画人というのは恥ずかしい」と記すように、専門画家であることを否定し、本分は七絃琴を以て「音律を正す」ことを願う「琴士」であると公言していた。しかしながら、当時から豊後(現・大分県)出身の南画家田能村竹田(1777-1835)などは、玉堂画の真価を理解し、それを高く評価していた。江戸時代後期には、関東では谷文晁(1763-1840)を中心としていわゆる「関東南画」が隆盛するが、ほぼ同時期を生きた西の浦上玉堂はそのような「学画の徒たち」とは一線を画したまさに「文人画家」という言葉がぴったりの人物といえる。本展により、自由奔放でありながら情緒に溢れ、リズムカルで親しみやすい画風となり、それが近代以降の芸術家や素封家たちからも人気を得ることになった玉堂の魅力を紹介することができた。また、本展は岡山県立美術館が所蔵している玉堂コレクションに、倉敷の素封家大原家が収集してきた玉堂作品が加わり、一層充実した内容となったことを契機に関東地方では初めて公開するという大きな意図もあった。併せて、玉堂に傾倒する現代画家浅見貴子の玉堂作品模写への取り組みや本人の作品を紹介した。

観覧者数	5,027人
開催日数	50日(1日平均 101人)
展示点数	95点(一部展示替えあり)
図録販売	276冊
担当者	橋本慎司(副館長兼学芸課長)

作成印刷物

1)広報宣伝物

ポスター(B2)、チラシ(A4)

2)図録『浦上玉堂』

体裁 : 29.8×21.2cm、160頁、図版約130点

内容 : テキスト

守安 収「浦上玉堂の生涯と画事 附記 岡山県立美術館浦上玉堂コレクション」

橋本慎司「浦上玉堂—その絵画の特異性と魅力」

森田詩織「浦上玉堂の文房趣味」

作品解説、落款印章、年譜、主要文献リスト、出品リスト

編集 : 栃木県立美術館、岡山県立美術館

デザイン・制作 : 吉田松司

印刷 : 山陽印刷株式会社

発行 : 栃木県立美術館

関 連 企 画

1) 記念講演会「浦上玉堂の魅力—その人と芸術」

日 時 : 10月26日(土) 15時～
講 師 : 守安 収 氏(岡山県立美術館 館長)
会 場 : 集会室

2) トーク&デモ「玉堂の筆、模写を通してわかったこと」

日 時 : 11月23日(土・祝) 14時～16時
講 師 : 浅見 貴子 氏(画家)
会 場 : 集会室

3) ギャラリー・トーク(担当学芸員による解説)

日 時 : 10月26日(土)、11月16日(土)、12月14日(土)
各回とも13時30分～

映像、音声ガイドなど

- 1) 音声ガイド : 主要な展示作品の解説(21点) ナビゲーター:永岡由貴
2) 特別展示 : 「浅見貴子—玉堂に迫る!」開催、あわせて映像『微茫惨憺』上映(19分)

出品リスト

No.	指定/作者名	作品名	制作年	年齢	材質・技法	所蔵先名
1	浦上玉堂	南山壽巻	天明七年 (1787)	43歳	紙本墨画淡彩	大原コレクション
2	浦上玉堂	山水図(扇面形)	寛政元年 (1789)	46歳	紙本墨画淡彩	
3	浦上玉堂	春雲飛燕図(扇面形)	江戸時代後期 (18世紀)	40代初期	紙本墨画	大原コレクション
4	浦上玉堂	天秋古泉響図	江戸時代後期 (18世紀)	40代前期～中期	紙本墨画	大原コレクション
5	浦上玉堂	湖山一角図	江戸時代後期 (18世紀)	40代後期	紙本淡彩	大原コレクション
6	浦上玉堂	平田山水図	江戸時代後期 (18世紀)	40代後期	紙本淡彩	大原コレクション
7	浦上玉堂	大根図	江戸時代後期 (18世紀)	50歳頃	紙本墨画	
8	浦上玉堂	墨石図	寛政六年 (1794)頃	50歳頃	紙本墨画	
9	浦上玉堂	雲山重疊図(扇面形)	江戸時代後期 (18世紀)	50代前期	紙本墨画淡彩	大原コレクション
10	浦上玉堂	山水図	江戸時代後期 (19世紀)	50代後	紙本墨画淡彩	
11	浦上玉堂	煙峰微茫図	江戸時代後期 (19世紀)	60歳頃	紙本墨画	大原コレクション
12	重要美術品 浦上玉堂	深林絶壁図	江戸時代後期 (19世紀)	50代末～60代 初期	紙本墨画淡彩	大原コレクション
13	浦上玉堂	雲蒸寒潭図	江戸時代後期 (19世紀)	60代前期	紙本墨画	大原コレクション

14	重要美術品 浦上玉堂	寒林閒處図	江戸時代後期 (19世紀)	60代前～中期	紙本墨画淡彩	大原コレクション
15	浦上玉堂	寒巖林松図	江戸時代後期 (19世紀)	60代中期	紙本墨画淡彩	大原コレクション
16	浦上玉堂	蘆隠老禅図	江戸時代後期 (19世紀)	60代中期	紙本墨画淡彩	
17	浦上玉堂	雲山静望図	江戸時代後期 (19世紀)	60代中期	紙本墨画	
18	浦上玉堂	雲山欲雨図(扇面形)	江戸時代後期 (19世紀)	60代中期	紙本墨画	大原コレクション
19	浦上玉堂	仙溪訪友図	江戸時代後期 (19世紀)	60代中期～後期	紙本墨画淡彩	
20	浦上玉堂	山寺対客図	江戸時代後期 (19世紀)	60代後期	紙本墨画	浦上家伝来品
21	浦上玉堂	野橋可立図	江戸時代後期 (19世紀)	60代後期	紙本墨画淡彩	大原コレクション
22	浦上玉堂	一塵不染図	江戸時代後期 (19世紀)	60代後期	紙本墨画淡彩	
23	浦上玉堂	山靈出雨図	江戸時代後期 (19世紀)	60代後期	紙本墨画淡彩	大原コレクション
24	重要文化財 浦上玉堂	山雨染衣図	江戸時代後期 (19世紀)	60代後期	紙本墨画淡彩	大原コレクション
25	浦上玉堂	山高水長図	江戸時代後期 (19世紀)	68歳頃	紙本墨画淡彩	
26	浦上玉堂	山澗読易図	江戸時代後期 (19世紀)	60代後期	紙本墨画淡彩	
27	重要美術品 浦上玉堂	山翁嘯咏図	江戸時代後期 (19世紀)	60代後期	紙本墨画淡彩	大原コレクション
28	浦上玉堂	幽林間適図	江戸時代後期 (19世紀)	60代後期	紙本墨画淡彩	
29	浦上玉堂	暖霞曉嶺図	江戸時代後期 (19世紀)	60代後期	紙本墨画	
30	浦上玉堂	萬壑寒泉図	江戸時代後期 (19世紀)	60代後期	紙本墨画淡彩	大原コレクション
31	浦上玉堂	静見秋山図	江戸時代後期 (19世紀)	60代後期	紙本墨画	大原コレクション
32	浦上玉堂	秋山清隠図	江戸時代後期 (19世紀)	60代後期	紙本墨画	大原コレクション
33	浦上玉堂	雅子挾書勤質問図	江戸時代後期 (19世紀)	60代後期	絹本墨画淡彩	大原コレクション
34	浦上玉堂	秋山晚晴図	江戸時代後期 (19世紀)	60代後期	綾子地墨画淡彩	
35	浦上玉堂	雲山静望図	江戸時代後期 (19世紀)	60代末期	紙本墨画淡彩	大原コレクション

36	重要美術品 浦上玉堂	疎松曲水図	江戸時代後期 (19世紀)	70歳頃	紙本墨画淡彩	
37	浦上玉堂	秋江雨晴図	江戸時代後期 (19世紀)	60代末～70代	紙本墨画淡彩	
38	浦上玉堂	林間間事図	文化十一年 (1814)	70歳	紙本墨画淡彩	大原コレクション
39	浦上玉堂	晴夏晚煙図 煙波釣徒図 白雲半断図	江戸時代後期 (19世紀)	70代	紙本墨画 紙本墨画 紙本墨画淡彩	
40	浦上玉堂	深山幽屋図	江戸時代後期 (19世紀)	70代	紙本墨画	大原コレクション
41	浦上玉堂	雲山模糊図	江戸時代後期 (19世紀)	70代	紙本墨画	大原コレクション
42	浦上玉堂	平遠奇峯図	江戸時代後期 (19世紀)	70代	紙本墨画淡彩	浦上家伝来品
43	浦上玉堂	森散暢谷図	江戸時代後期 (19世紀)	70歳頃	紙本墨画淡彩	大原コレクション
44	浦上玉堂	訪山尋水図	江戸時代後期 (19世紀)	70歳頃	紙本墨画	大原コレクション
45	浦上玉堂	琴写澗泉図	文化十二年 (1815)	71歳	紙本墨画淡彩	
46	浦上玉堂	夏雲欲雨図	江戸時代後期 (19世紀)	71～72歳頃	紙本墨画	大原コレクション
47	浦上玉堂	秋山吟嘯図	江戸時代後期 (19世紀)	70代初期	紙本墨画淡彩	大原コレクション
48	浦上玉堂	雲閣晴暉図	文化十二年 (1815)	71歳	紙本墨画	
49	浦上玉堂	山中読書図	江戸時代後期 (19世紀)	60代後期～70 初期	紙本墨画	大原コレクション
50	浦上玉堂	清涼馨香図	文化十一年 (1814)	70歳	紙本墨画	大原コレクション
51	浦上玉堂	幽溪散歩図	江戸時代後期 (19世紀)	70代	紙本墨画	
52	浦上玉堂	夏晚水亭図	江戸時代後期 (19世紀)	70代	紙本墨画淡彩	浦上家伝来品
53	浦上玉堂	春山染雨図	江戸時代後期 (19世紀)	70歳頃	絹本墨画淡彩	
54	浦上玉堂	天楽遙間図	江戸時代後期 (19世紀)	70代	絹本墨画	大原コレクション
55	浦上玉堂	六書通序	江戸時代後期 (18世紀)	28～30歳頃	紙本墨書	
56	浦上玉堂	幽蘭譜	江戸時代後期 (18世紀)	30～40代	紙本墨書	

57	柏木如亭編 浦上玉堂筆写	宋詩奇絶	江戸時代後期 (18~19世紀)	60~70代	紙本墨書	浦上家伝来品
58	柏木如亭編 浦上玉堂筆写	宋詩奇絶	江戸時代後期 (18~19世紀)	60~70代	紙本墨書	
59	浦上玉堂	玉堂書董香光跋語	江戸時代後期 (19世紀)	60代中期か	紙本墨書	大原コレクション
60	浦上玉堂	隸書漆谷山房記	江戸時代後期 (18世紀)	40代後期	紙本墨書	
61	浦上玉堂	書状 (梶川七郎兵衛・唐本屋吉左衛 門宛)	寛政初年頃 (1789、1790か)	45,46歳	紙本墨書	
62	浦上玉堂	『玉堂琴譜』	寛政三年 (1791)	47歳	版本	
63	浦上玉堂	「玉堂琴譜後集」草稿	江戸時代後期 (18世紀)	50代	紙本墨書	浦上家伝来品
64	浦上玉堂	「玉堂雜記」草稿	江戸時代後期 (18世紀)	50代	紙本墨書	浦上家伝来品
65	浦上玉堂	二字「草亭」	天明元年 (1781)	37歳	紙本墨書	
66	浦上玉堂	二字「心静」	江戸時代後期 (18世紀)	40代	紙本墨書	浦上家伝来品
67	浦上玉堂	額字(劃然長嘯)	江戸時代後期 (18世紀)	40代後期	紙本墨書	大原コレクション
68	重要美術品 筆者不詳 浦上玉堂賛	壳茶翁像(賛詩)	江戸時代後期 (18世紀)	40代後期	紙本墨書、紙本 墨画淡彩	大原コレクション
69	浦上玉堂	書状(藤田蘭臯宛)	寛政元年 (1789)	45歳	紙本墨書	大原コレクション
70	浦上玉堂	北遊草	寛政元年 (1789)	45歳	紙本墨書	
71	浦上玉堂	詩書(別館芳菲)	寛政元年 (1789)	45歳	紙本墨書	大原コレクション
72	浦上玉堂	一行書(空中)	江戸時代後期 (18世紀)	40代後期	紙本墨書	大原コレクション
73	浦上玉堂	一行書(粉蝶)	江戸時代後期 (18世紀)	40代後期	紙本墨書	大原コレクション
74	浦上玉堂	三行書(人各有)	江戸時代後期 (18世紀)	40代末頃	紙本墨書	大原コレクション
75	浦上玉堂	三行書(三十年來)	江戸時代後期 (18世紀)	40代	紙本墨書	大原コレクション
76	浦上玉堂	草書七言聯	江戸時代後期 (18世紀)	40代	紙本墨書	浦上家伝来品
77	浦上玉堂	一行書(斗室)	江戸時代後期 (19世紀)	60代	紙本墨書	大原コレクション

78	浦上玉堂	細字三行書(老家)	江戸時代後期 (19世紀)	60代前期	紙本墨書	大原コレクション
79	浦上玉堂	書状 大塚荷溪宛	江戸時代後期 (19世紀)	60代前期	紙本墨書	
80	浦上玉堂	詩書五言律詩(武元登々庵)	文化三年 (1806)頃	62歳	紙本墨書	
81	浦上玉堂	藤公琴槽腹記	文化九年 (1812)	68歳	絹本墨書	
82	浦上玉堂	『玉堂琴士集』前集	寛政六年 (1794)	50歳	版本	
83	浦上玉堂	『玉堂琴士集』後集	寛政九年 (1797)	53歳	版本	
84	浦上玉堂	詩書(楊雄)・長松濃壽図	江戸時代後期 (19世紀)	60代前期	紙本墨書、紙本 墨画淡彩	大原コレクション
85	浦上玉堂他	千山列峯図他諸家寄書	寛政三年頃 (18世紀)	47歳頃	綸子地墨画着色	
86	浦上玉堂・春琴・ 秋琴他	玉堂琴囊	寛政十年 (1798)頃	54歳頃	麻布墨書・墨画 淡彩ほか	
87	浦上玉堂・春琴	玉堂書画稿(含春琴)	江戸時代後期 (19世紀)		紙本墨書、紙本 墨画	大原コレクション
88		山中訪友図賛詩(玉堂宛詩文)	文化二年 (1805)	61歳	紙本墨書、絹本 墨書	大原コレクション
89	浦上玉堂	玉堂製七絃琴	天明六年 (1786)	42歳	木造漆塗	
90		玉堂所用印章+押印紙	江戸時代後期 (19世紀)			浦上家伝来品
91		玉堂遺品(筆草、医薬品等)	江戸時代後期 (19世紀)			浦上家伝来品
92	浦上玉堂絵付	玉堂遺品(堤重)	江戸時代後期 (19世紀)		朱漆塗金泥彩	浦上家伝来品
93	浦上春琴	浦上玉堂像	文化十年 (1813)		紙本墨画淡彩	浦上家伝来品
94		玉堂琴士之碑拓本			紙本墨拓	浦上家伝来品

特別展示「浅見貴子—玉堂に迫る！」

No.	指定/作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	所蔵先名
1	浅見貴子	交歓	2023年	墨、顔料、膠、 樹脂膠、雲肌 麻紙	200×450	個人蔵
2	浅見貴子	Matsu 1	2002年	墨、膠、雲肌 麻紙	160×200	栃木県立美術館

3	浅見貴子	交歓の木	2024年	墨、顔料、樹脂膠、白麻紙 ※毛筆及び筆草使用	140×200	作家蔵
4	浅見貴子	精IV	1998年	墨、銀泥、膠、雲肌麻紙	190×130.5	作家蔵
5	浅見貴子	アオキ、8月	2024年	墨、顔料、樹脂膠、白麻紙 ※毛筆及び筆草使用	72.5×60.5	作家蔵
6	浅見貴子	白雲半断図模写	2024年	墨、宣紙 ※アダン筆、筆草、毛筆使用	34.7×51	個人蔵
7	浅見貴子	試し描き山水	2024年	墨、宣紙 ※アダン筆使用	35×42.5	個人蔵
8	浅見貴子	アオキ、3月	2024年	紙に墨、鉛筆、色鉛筆 ※毛筆及び筆草使用	24.3×36.5	個人蔵

よむ あむ うつす 勝城蒼鳳 —人間国宝に訊く竹の道

Living National Treasure
KATSUSHIRO sōhō



ポスター



図録

- 会 期** = 令和7(2025)年1月18日(土)～3月23日(日)
主 催 = 栃木県立美術館
後 援 = 朝日新聞宇都宮総局、宇都宮コミュニティFM ミヤラジ、NHK宇都宮放送局、株式会社エフエム栃木、産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、東京新聞宇都宮支局、株式会社とちぎテレビ、株式会社栃木放送、毎日新聞宇都宮支局、読売新聞宇都宮支局

本展は、2023年1月に逝去した竹工芸家、勝城蒼鳳(かつしろ そうほう 1934-2023)を追悼する展覧会である。栃木県那須郡高林村(現・那須塩原市)に生まれた勝城は、自らが目にした自然の景色を伸びやかで力強い唯一無二の竹の造形へと昇華させ、2005年、重要無形文化財「竹工芸」保持者、いわゆる「人間国宝」に認定された。自然から受けた感動を「俳句」に詠み、極限まで抽象化し、そのイメージにあわせて新たな技法をも生み出しながら造形化する勝城は、まさに竹の“アーティスト”といえる。また、「本は栄養」と語った勝城の蔵書は、古今東西の美術はもちろん、建築、文学、哲学、物理、天文と幅広く、その探究心が創作の原動力となっていたと考えられる。

本展では、数十年ぶりに公開となった文化庁蔵の作品2点を含む勝城の名品約60件により、初期から晩年までの歩みをたどった。あわせて、作品を読み解くヒントとなる俳句や、蔵書に書き留められた言葉、座右の銘等も初公開し、人間・勝城蒼鳳の魅力に触れながら、竹と言葉が編み出す情景を味わえる展示構成とした。さらに、「未来へ続く竹の道」として、現在の人間国宝、藤沼昇、藤塚松星、岐部笙芳の作品も紹介した。

来館者の滞在時間は長く、有料入館者やリピーターが多かった。竹工芸ビギナーから勝城と縁のある関係者まで非常に満足度が高く、図録の売れ行きも好調であった。

観 覧 者 数	5,039人
開 催 日 数	56日(1日平均 90人)
展 示 点 数	作品73点、資料22件(展示替え無し)
図 録 販 売	345冊
担 当 者	鈴木さとみ(主任研究員)

作 成 印 刷 物

1) 広報宣伝物

ポスター(B2)、チラシ(A4)

2) 図録

体 裁 : B5判変形、112頁、図版 約90点
内 容 : テキスト

鈴木さとみ「勝城蒼鳳の『竹耕藝』 竹と言葉が編み出す情景」

「竹の息吹き—人間国宝 勝城蒼鳳と藤沼昇を中心に」展記念対談記録 「自然を奏でる—イメージを形に」

勝城蒼鳳関連資料、竹工芸 編組の技法、栃木関連竹工芸家系譜、勝城蒼鳳年譜、出品作家略歴、出品作品リスト、主要参考文献

編 集 : 鈴木さとみ

デザイン : 笹川アツコ
制作 : 山田写真製版所
発行 : 栃木県立美術館

関連企画

1) ギャラリー・トーク(担当学芸員による解説)

日時 : 1月18日(土)15時30分～
: 2月2日(日)、3月2日(日)、3月16日(日) 各回とも14時～
会場 : 企画展示室

2) ワークショップ「未来への橋渡し—竹の箸を作る」

日時 : 3月9日(日) 第1回:10時～12時 / 第2回:14時～16時
講師 : 藤沼昇氏(重要無形文化財「竹工芸」保持者)
会場 : 集会室
対象 : 18歳以上
定員 : 各回10組

3) ミニワークショップ×作品鑑賞「みて、さわって! 竹工芸ってどんなもの?」

日時 : 2月9日(日)14時～15時30分
講師 : 企画展担当学芸員
会場 : 集会室、企画展示室
対象 : 小学生とその保護者
定員 : 各回10組

映像、音声ガイドなど

1) 工芸技術の記録 映画「竹工芸—勝城蒼鳳のわざ」

企画 : 文化庁(2013年)
制作 : 毎日映画社
会場 : 企画展示室

2) 映像 : 勝城蒼鳳「スケッチブック」よりスライドショー上映

3) 音声ガイド : 主要な展示作品の解説(17点) ナビゲーター:永岡由貴

展示構成

I 人間国宝に訊く竹の道

- I-1 竹工芸の道へ
- I-2 自然から受けた感動をかたちに

II よむ あむ うつつ

- II-1 水をよむ
- II-2 風をあむ
- II-3 光をうつす
- II-4 花とともに

III 未来へ続く竹の道

—藤沼昇、藤塚松星、岐部笙芳

IV 勝城の恩師

—八木澤啓造、齋藤文石

俳句の小径

出品リスト

・展示番号はカタログ番号に準ずる

・寸法表記 cm(高さ×最大径、高さ×幅×奥行、縦×横)

No.	作者名	作品名	制作年	寸法(cm)	所蔵先名	章節
1	勝城蒼鳳	盛籠	昭和43(1968)年	13.5×41	個人蔵	I-1
2	勝城蒼鳳	牡丹籃	昭和45(1970)年頃	111×59	個人蔵	I-1
3	勝城蒼鳳	捻編花文銘々皿	昭和47(1972)年	4.5×17.5(×5)	栃木県立美術館寄託	I-1
4	勝城蒼鳳	千集編桔梗文盛籠	昭和49(1974)年	7×44.5	那須野が原博物館	I-1
5	勝城蒼鳳	煤竹緋編廣口花籠「春之詩」	昭和51(1976)年	26×29	個人蔵	I-1
6	勝城蒼鳳	撫子文食籠	昭和51(1976)年	18×25.5	個人蔵	I-1
7	勝城蒼鳳	亀甲文盛籠	昭和52(1977)年	5×46×42	個人蔵	I-1
8	勝城蒼鳳	盛籠「秋稲波」	昭和53(1978)年	6×42×42	個人蔵	I-1
9	勝城蒼鳳	盛籃「芳花」	昭和54(1979)年	8.7×39.8	個人蔵	I-1
10	勝城蒼鳳	盛籃「春乃海」	昭和55(1980)年	6.5×46.5×46.5	個人蔵	I-1
11	勝城蒼鳳	波千鳥編盛籃「清流」	昭和57(1982)年	10×41.5×42.5	個人蔵	I-2
12	勝城蒼鳳	波千鳥編盛籃「溪流」	昭和58(1983)年	9.8×62×30	国立工芸館	I-2
13	勝城蒼鳳	盛籃「菊」	昭和60(1985)年	9×46	那須野が原博物館	I-2
14	勝城蒼鳳	四辨花連文花籃「薰風」	昭和61(1986)年	13×53×19.5	個人蔵	I-2
15	勝城蒼鳳	菱花紋千集編花籃「陽焰」	平成元(1989)年	32×36×19	那須野が原博物館	I-2
16	勝城蒼鳳	花籃「盛夏」	平成2(1990)年	32.3×33.3	栃木県立美術館	I-2
17	勝城蒼鳳	根曲竹白雨編花籃「竹林」	平成3(1991)年	30×36	那須野が原博物館	I-2
18	勝城蒼鳳	鉄線文片寄編籠棗	平成4(1992)年	7.8×7.2	個人蔵	I-2
19	勝城蒼鳳	靱形連文花籃「つゆあけ」	平成5(1993)年	18.5×58×21.5	個人蔵	I-2

20	勝城蒼鳳	千集花文編花籃「華心」	平成6(1994)年	16.5×47.5	個人蔵	I-2
21	勝城蒼鳳	柁割交色千筋花籃「瀧」	平成7(1995)年	31×38×18.5	那須野が原博物館	I-2
22	勝城蒼鳳	柁割千筋拭漆花籃「蟬時雨」	平成8(1996)年	29.5×47.5×15.5	個人蔵	I-2
23	勝城蒼鳳	柁割千筋流線文盛籃「鄰」	平成9(1997)年	8.5×68.5×28.5	国(文化庁保管)	I-2
24	勝城蒼鳳	千筋捻摺漆花籃「漣」	平成14(2002)年	36×42.5×22	栃木県立美術館	I-2
25	勝城蒼鳳	千筋曲線摺漆花籃「かげろう」	平成15(2003)年	29×62×21	大田原市	I-2
26	勝城蒼鳳	雨文拭漆花籃「慈雨」	平成16(2004)年	24.5×54×21	大田原市	I-2
27	勝城蒼鳳	柁割拭漆花籃「泉韻」	平成17(2005)年	41×54×45	栃木県立美術館寄託	I-2
28	勝城蒼鳳	根曲竹摺漆花籃「初夏の風」	平成17(2005)年	24×51×26.5	大田原市	II-2
29	勝城蒼鳳	柁割曲線摺漆盛籃「四照花」	平成17(2005)年	9×54.5	個人蔵	I-2
30	勝城蒼鳳	合編摺漆盛籃「明響」	平成18(2006)年	17.3×58.5	個人蔵	I-2
31	勝城蒼鳳	篤竹摺漆花籃「土の温もり」	平成18(2006)年	25.5×57.5×33.5	個人蔵	I-2
32	勝城蒼鳳	篤竹摺漆盛籃「螢の里」	平成18(2006)年	13×72×28	栃木県立美術館寄託	I-2
33	勝城蒼鳳	風車文透編花籃「春想」	平成20(2008)年	41×35×30.5	栃木県立美術館寄託	I-2
34	勝城蒼鳳	柁割曲線摺漆花籃「田面光風」	平成20(2008)年	25×56×30	個人蔵	II-1
35	勝城蒼鳳	柁割曲線摺漆花籃「瀧」	平成21(2009)年	45×37×27	栃木県立美術館寄託	II-1
36	勝城蒼鳳	雨文摺漆花籃「那須野の驟雨」	平成23(2011)年	27×41×17	栃木県立美術館寄託	II-1
37	勝城蒼鳳	篠平伸摺漆花籃「薫風」	平成23(2011)年	35.5×55×40	個人蔵	II-2
38	勝城蒼鳳	平割捻り文摺漆花籃「駒止の瀧」	平成23(2011)年	45×27×20	個人蔵	II-1

39	勝城蒼鳳	Waterfall	平成23(2011)年	220×70×3	国立工芸館	II-1
40	勝城蒼鳳	白鍍花籃「みのり」	平成25(2013)年	28.3×33.7	個人蔵	II-2
41	勝城蒼鳳	千集編摺漆盛籃「やすらぎノ花」	平成25(2013)年	13.7×58	国(文化庁保管)	II-3
42	勝城蒼鳳	柁割捻摺漆花籃「晴耕雨読」	平成26(2014)年	29×48×23	個人蔵	II-1
43	勝城蒼鳳	根曲竹摺漆手付花籃「風光る」	平成27(2015)年	29.5×48.5	個人蔵	II-2
44	勝城蒼鳳	平割捻摺漆花籃「陽炎韻映」	平成27(2015)年	24.5×53×17	栃木県立美術館寄託	II-3
45	勝城蒼鳳	根曲竹摺漆花籃「颯然」	平成28(2016)年	32×69×22	国立工芸館	II-2
46	勝城蒼鳳	平伸竹遊線花籃「共生」	平成29(2017)年	19×26×25(×2)	個人蔵	II-4
47	勝城蒼鳳	柁割千集花文摺漆盛籃「花のゆめ」	平成29(2017)年	20×45	栃木県立美術館寄託	II-3
48	勝城蒼鳳	篠平伸摺漆花籃「花之友」	平成30(2018)年	38×46.6	個人蔵	II-4
49	勝城蒼鳳	柁割千集把編摺漆盛籃「牡丹」	平成30(2018)年	11×42	個人蔵	II-3
50	勝城蒼鳳	柁割千集編花文盛籃「長寿菊」	令和元(2019)年	11.1×37	栃木県立美術館寄託	II-3
51	勝城蒼鳳	柁割把ね編花籃「夕涼み」	令和元(2019)年	48.3×15.8	個人蔵	II-4
52	勝城蒼鳳	柁割把編摺漆釣花籠「花の舞」	令和元(2019)年	19×42×39	個人蔵	II-4
53	勝城蒼鳳	根曲竹摺漆花籃「里山暁光」	令和元(2019)年	28.6×33.3	個人蔵	II-4
54	勝城蒼鳳	篤竹摺漆花籃「浅春」	令和2(2020)年	23×44×23	個人蔵	II-3
55	勝城蒼鳳	柁割千集編花文盛籃「千代見之華」	令和2(2020)年	13×45	個人蔵	II-3
56	勝城蒼鳳	平割拭漆手付花籃「芳辰」	令和3(2021)年	34×36×34	個人蔵	II-3

57	勝城蒼鳳	柁割千集編花文盛籃「芳華」	令和3(2021)年	12×45.5	栃木県立美術館寄託	Ⅱ-3
58	勝城蒼鳳	根曲竹遊線編摺漆花籃「初音」	令和4(2022)年	34.5×36.5×36.5	栃木県立美術館寄託	Ⅱ-3
59	勝城蒼鳳	青海編拭漆手付花籃「豊春」	令和4(2022)年	35.5×22×22	個人蔵	Ⅱ-4
60	勝城蒼鳳	根曲竹摺漆花籃「雲雀の里」	令和4(2022)年	28×52.5×21	個人蔵	Ⅱ-3
61	勝城蒼鳳	晒根曲竹花籃「叢篁の朝」	令和5(2023)年	26×43×23.2	個人蔵	Ⅱ-3
62	藤沼昇	網代編舟形花籃「翔」	平成元(1989)年	14×54×22	栃木県立美術館	Ⅲ
63	藤沼昇	束編花籃「天寿」	平成21(2009)年	23×42×42	個人蔵	Ⅲ
64	藤沼昇	盛籃「天真」	平成21(2009)年	13×45×29	個人蔵	Ⅲ
65	藤沼昇	網代編盛籃「花筏」	平成26(2014)年	26×44×27	個人蔵	Ⅲ
66	藤沼昇	網代編盛籃「陽光」	平成30(2018)年	25×44×44	栃木県立美術館	Ⅲ
67	藤沼昇	束編花籃「阿云」	平成23(2011)年	26×44	栃木県立美術館	Ⅲ
68	藤塚松星	彩変化盛器'23	令和5(2023)年	9.5×51×18.5	個人蔵	Ⅲ
69	岐部笙芳	櫛文花籃「花揺れ」	平成28(2016)年	38.5×27×21	個人蔵	Ⅲ
70	八木澤啓造	花籃「竹時雨」	昭和54(1979)年	14×36×45	栃木県立美術館	Ⅳ
71	八木澤啓造	手さげバッグ	平成17(2005)年	21×24×16	大田原市	Ⅳ
72	齋藤文石	花籃(白鍔束編)	昭和47-50(1972-75)年頃	29.4×19.7×19.7	栃木県立美術館	Ⅳ
73	飯塚琅玕齋	朱竹印籠	昭和7(1932)年	6×5.2×1.5	個人蔵	Ⅳ

■ 資料類

番号	作者名	作品・資料名	所蔵先名
1	勝城蒼鳳	スケッチブック(3冊)	個人蔵

2	勝城蒼鳳	色紙 竹工芸6箇条「線・空・韻・感・明・創」	栃木県立美術館
3	勝城蒼鳳	色紙掛け	栃木県立美術館
4	勝城蒼鳳	色紙 座右の銘「竹工耕藝 無盡蔵」	個人蔵
5	勝城蒼鳳	色紙掛け	個人蔵
6	勝城蒼鳳	色紙 座右の銘「無心に成らず 心込め 無我にもならず我が道拓く」	栃木県立美術館
7	勝城蒼鳳	色紙掛け	栃木県立美術館
8	勝城蒼鳳	短冊(俳句)(11点)	個人蔵
9		勝城蒼鳳の蔵書(15点)	個人蔵
10	勝城蒼鳳	個展のあいさつ文	個人蔵
11	大田原市	「Second Nature 勝城蒼鳳の表現」展ポスター	個人蔵
12	日本工芸会会員	竹工芸の編組見本(5件)	日本工芸会
13	藤沼昇	竹の割り方見本(柎割・平割)	栃木県立美術館
14	勝城蒼鳳	手形	個人蔵
15	市村弘堂ほか	勝城蒼鳳 所用印章(5点)	個人蔵
16	勝城蒼鳳	箱書 《柎割千筋拭漆花籃「蟬時雨」》《柎割把ね編花籃「夕涼み」》(2点)	個人蔵
17	勝城蒼鳳	竹筆(3点)	個人蔵
18	勝城蒼鳳ほか	道具一式・道具箱	個人蔵
19	勝城蒼鳳	『勝城蒼鳳 竹工芸 道程写真アルバム』(6冊組のうちの2冊)	個人蔵
20	勝城蒼鳳	竹製ループタイ(2点)	個人蔵
21	勝城蒼鳳	自作の杖(ホテイチクの杖、ラッキョウヤダケの杖)	個人蔵
22	勝城蒼鳳	ハンチング帽	個人蔵

■常設展示

コレクション展 I 「はじまりの美術」

展示期間＝ 令和6(2024)年4月20日(土)～6月16日(日)

作品の「はじめて・はじまり」に着目して、所蔵作品を紹介した。常設展示室1階では、栃木県立美術館が開館記念展として開催した最初の企画展「栃木県の美術」を、所蔵作品を用いて再現した。また、常設展示室2階では、栃木県美術作品等取得基金により令和5年度に取得したアルフレッド・シスレー《冬の夕日(サン＝マメスのセーヌ河)》を初公開した。取得記念として、常設展示室の入館券を《冬の夕日》を用いたデザインにリニューアルした。

担当者＝ 武関彩瑛(主任)

出品リスト

作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	備考
■1階展示室					
【再現！栃木県立美術館開館記念展「栃木県の美術」】					
谷文晁	那須眺望図	1799年	絹本着色	47.3×71.3	
石川寒巖	寒山拾得	1933年	紙本着色	94.4×124.6	
石川寒巖	西王母	1932年	紙本墨画	131×55.5	
チャールズ・ワーグマン	鳥	19世紀後半	板、油彩	32×41	
五百城文哉	おまつ像	1901年頃	紙、水彩	67×50	
小杉放菴	一本杉	1910年	カンヴァス、油彩	53×40.9	
小杉放菴	アルハンブラの丘	1913年	カンヴァス、油彩	36.5×44	
古川龍生	昆虫戯画卷(目次)	1933年	紙、木版	24.8×34.7	
古川龍生	昆虫戯画卷 争鬪篇 草上飛行	1933年	紙、木版	24.8×34.7	
笹島喜平	山径(益子経ヶ坂)	1950年	紙、木版	35×50	
小口一郎	川俣事件	1955年	紙、木版	45×150	
深沢史朗	Sharaku and I	1972年	紙、シルクスクリーン	74×74	
刑部人	溪流残雪(塩原)	1972年	カンヴァス、油彩	80.3×100	
岩崎鐸	初孫誕生	1950年	紙本着色	145×228	
濱田庄司	柿釉赤絵扁壺	1971年	陶	23×16.2×9.5	
瀧田項一	白磁鑄手壺	1972年	磁	24×24	
人見城民	薬草図日光堆朱硯筥	1949年	漆	6.6×21×26.5	
飯塚小玕齋	瓢形箆目つぶし花籃	1975年	竹	32.4×16	
飯塚琅玕齋	吊花籃 魚籃	1938年	竹	48×49×49	

【出会いからはじまるわざ】

棟方志功	二菩薩・釈迦十大弟子	1948年:菩薩 1939年:弟子	紙、木版	119.7×35.4(×12)	
濱田庄司	塩釉絵刷毛目方瓶	1972年	陶	22×17.3	
濱田庄司	柿釉赤絵角皿	1972年	陶	8×33.5×33.5	
バーナード・リーチ	蛸絵大皿	1928年	陶	11×50	
島岡達三	窯変縄文壺	1971年	陶	28.7×26.2	
島岡達三	塩釉象嵌縄文皿	1979年	陶	12.2×57	
加守田章二	灰釉壺	1964年	陶	25.8×37.4	
加守田章二	壺(大)	1974年	陶	49.2×25.5×12.5	
八木澤啓造	花籃 竹時雨	1979年	竹	14×36×45	
勝城蒼鳳	風車文透編花籃 春想	2008年	竹	30.5×35×41	寄託
藤沼昇	網代編舟形花籃 翔	1989年	竹	22 ×54×14	

【はじまりのかたち】

川上澄生	洋燈・女・猫 版木		木		5点
川上澄生	洋燈・女・猫	1939年	紙、木版多色刷	24×16	3点
鈴木賢二	「土」三部作(のうち「勘次」)	1938年	石膏	73×43×30	
鈴木賢二	「土」三部作(のうち「勘次」)	1938(鑄造: 1950年代)	ブロンズ	73×43×30	
三木俊治	行列	1985年	紙、墨、水彩	28×1217	

■1階 大壁面周辺の立体作品

デイヴィッド・ナッシュ	テーブルと椅子	1984年	木(カバ)	240×340×340	
デイヴィッド・ナッシュ	歩く梯子	1984年	木(ニレ)	218×190×64	
高木修	Untitled	1993年(2016 年再制作)	鉄	136×570×111	
青木秀憲	宙シリーズ 飛翔2001	2001年	アルミニウム	180×110×50	
篠田守男	クロンボルグ城 T-C4305	1974年	アルミニウム、ワイ ヤー、真鍮	104×250×150	
和久奈南都留	ふるさと	1980年	御影石	100×100×100	

■2階展示室

【キリスト教における世界の始まり】

ギュスターヴ・ドレ	ミルトン作「失樂園」挿絵	なし(初版1866 年)	紙、木口木版	34.3×26.5	全50点のうち 10点
-----------	--------------	-----------------	--------	-----------	----------------

【初公開！アルフレッド・シスレーとその関連作品】

アルフレッド・シスレー	冬の夕日 (サン＝マメスのセーヌ河)	1882-1883年頃	カンヴァス、油彩	50×65
J.M.W.ターナー	風景、タンバリンをもつ女	1840-50年頃	カンヴァス、油彩	88.5×118
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1805-17年頃	カンヴァス、油彩	52.8×44.8
カミーユ・コロー	ヴィル＝ダヴレーの池 (洗濯女たちと水飼場に来る馬)	1847年	カンヴァス、油彩	85×100
ポール・ユエ	谷	19世紀前半	カンヴァス、油彩	30.5×49.5
コンスタン・トロワイヨン	水を渡る牛 (帰途)	1855-60年頃	カンヴァス、油彩	76.5×98
アーンズビー・ブラウン	九月の朝	1910年代	カンヴァス、油彩	39×44
デイヴィッド・コックス	ウォッシング・デイ (洗濯日和)	1840年	紙、水彩	24.1×33

【作者番号001 清水登之】

清水登之	C嬢の肖像	1915年	カンヴァス、油彩	116.7×72.7
清水登之	ニューヨーク、夜のチャイナタウン	1922年	カンヴァス、油彩	91×116.7
清水登之	グラン・ギニョール	1926年	カンヴァス、油彩	81.5×65.3
清水登之	パリ夜街	1926年	カンヴァス、油彩	88.9×116.2
清水登之	地に憩う	1930年	カンヴァス、油彩	112.1×145.5
清水登之	戦いのあと	1930年代～40年代前半	紙、墨、水彩	38×60
清水登之	入日	1942年	紙、水彩	38×54

【コレクションのひろがり① 収集・研究・保存】

阿以田治修	画家として	1929年	カンヴァス、油彩	130.5×194
川島理一郎	リュクサンブール公園	1925年	カンヴァス、油彩	60.6×50
藤田嗣治	花を持つ少女	1918年	カンヴァス、油彩	65×54
藤田嗣治	桑重儀一送別会寄せ書き	1914年	紙、インク	27.5×20.5
関谷陽	陽炎	1970年	カンヴァス、油彩	161.4×130.4
関谷富貴	関谷富貴作品群	1950-60年代	紙、混合技法	
川島理一郎	京の舞妓	1950年代	板、油彩	33×24
川島理一郎	朝の富士	1950年代	カンヴァス、油彩	37.5×45.5

【コレクションのひろがり② 近年の寄贈作品より】

和気史郎	自画像	1969年	カンヴァス、油彩	45.5×27.3
和気史郎	西芳寺	1969年	カンヴァス、油彩	53×65.2
和気史郎	友禅 (京)	1979年	カンヴァス、油彩	91×116.7

小口一郎	自画像	1968年	カンヴァス、油彩	53.4×45.7
小口一郎	小山機関区	1966年	カンヴァス、油彩	53×65
小口一郎	夕暮 サロマ	1974年	カンヴァス、油彩	38×45.6
尾藤豊	とられた土地 エスキース	1959年	カンヴァス、油彩	27.9×39
尾藤豊	とられた土地	1960年	カンヴァス、油彩	137.8×195.3
尾藤豊	構築のきざし	1967年	カンヴァス、油彩	130×162.1

【生誕100年記念 芥川(間所)紗織 museum to museums】

芥川(間所)紗織	神話より(4)	1956年	布、染色	162×130.3
芥川(間所)紗織	2人の女	1963年	カンヴァス、油彩	41×27.3

【追悼・舟越桂】

舟越桂	風をためて	1983年	楠、彩色、大理石	91×41×28
-----	-------	-------	----------	----------

■2階展示室の立体作品

神山明	伝説	1989年	杉、オイルステイン	147×99×99
伊藤公象	収縮性小曲面体	1980年 (再制作93年)	陶、アクリル	61.5×107.3×130
篠原有司男	モーターサイクル・ママ	1973年	カードボード、 ポリエステル樹脂	158×235×128

《伊東直子マイセン磁器コレクション》

マイセン磁器	色絵神話女性像「雄牛にのるエウロペ」	19世紀後半	磁	高21.3×幅20
マイセン磁器	色絵楽奏猿群像「猿のオーケストラ」	1766-18世紀末	磁	高16.5(22種23ヶ)
マイセン磁器	赤絵楽奏人物群像	1924-34年頃	磁	高29.6(4ヶ)
マイセン磁器	色絵プット像「夏と秋の寓意」	1770年頃	磁	高23.6×幅21.5
マイセン磁器	藍地金彩色絵花卉宮廷人物図植木鉢	19世紀末	磁	高28.2×21.3(2ヶ)
マイセン磁器	色絵燭台ポプリ壺付暖炉用センターピース	1782-90年頃	磁	57.2×32.8(2ヶ)
マイセン磁器	色絵プット立像「漁師」	18世紀後半	磁	高14.3×幅23.3
マイセン磁器	黒地ベットガー妬器赤絵金彩人物図瓶	1710-15年頃	磁	12.5×10.3
マイセン磁器	色絵人物像「羊飼いと羊にのるプット」	18世紀後半	磁	高10.4×幅12.8
マイセン磁器	色絵金彩人物図蓋付双耳鉢、受皿	1725-30年頃	磁	鉢高9.1受皿径13.8
マイセン磁器	色絵神話人物像「ウェヌス、アドニスとクピッド」	1750-60年代	磁	高15.0×幅14.4
マイセン磁器	色絵金彩人物図ティーポット	1735年頃	磁	高9.7×幅16
マイセン磁器	色絵花卉図ポプリ壺・アモル立像「着衣のアモル」・花飾り	1750-60年代	磁	高21×幅23.5

マイセン磁器	色絵人物図カップ&ソーサー	1730-40年代	磁	カップ高4.6×径7.7、 ソーサー径13.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「大地の寓意 フローラ」	1760年頃	磁	高16×幅15
マイセン磁器	金彩樹下人物図カップ&ソーサー「金の中国人」	1730年頃	磁	カップ高4.5×径7.7、 ソーサー径12.4
マイセン磁器	色絵ポプリ壺付群像「慈愛の寓意」	18世紀中頃	磁	高26.0×幅19
マイセン磁器	色絵花卉図輪花鉢	1730年代	磁	高4.5×径13
マイセン磁器	色絵梅鶉図輪花鉢	1774-1814年頃	磁	高5.2×径13.3
マイセン磁器	色絵東洋人坐像「ゆれるパゴダ像」	19世紀末	磁	17.9×18.5
マイセン磁器	色絵獅子昆虫花鳥図ズルコウスキー・オツイエルレリーフ皿	1735-45年頃	磁	5.8×34.6
マイセン磁器	色絵花飾鳥ブット像鏡	19世紀中頃か後半	磁	130×80
マイセン磁器	色絵花飾田園人物図蓋付双耳ポプリ壺	19世紀後半	磁	高63.5×幅37
マイセン磁器	色絵貼花飾狩猟図鹿浮彫蓋付パンチボウル	19世紀後半	磁	37×30.7
マイセン磁器	色絵オシドリ像	1922年か23年	磁	高37×幅18.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「愛の束縛」	19世紀後半	磁	高31.7×幅34.1

□常設館以外の展示作品

■玄関ロビー

多田美波	周波数FL10-6874	1968年	ステンレス、ミラーガラス	247×273
------	--------------	-------	--------------	---------

■集会室前

島田忠恵	O & U	1972年	ブロンズ、ステンレス	200×200×100
------	-------	-------	------------	-------------

■屋外展示(中庭)

エミール=アントワーヌ・ブールデル	ペネロペ	1907-12年	ブロンズ	240×90×70
島田忠恵	餓鬼	1971年	ブロンズ	350×280×100
高橋清	親和	1974年	御影石	250×258×175
清水九兵衛	Affinityの継続-A	1976年	アルミニウム	55×286×180
小林泰彦	インヴォケーション(祈り)	1981年	ステンレス	224×68×57
杉浦康益	陶による石の群	1983年	陶器	50×40×40(×12)
青木秀憲	【いずみ】"IZUMI"	1981年	ステンレス	4.5×212×212
三木俊治	行列	1984年	ブロンズ、御影石	25×800×10

■野外彫刻

高橋清	Atlinemi(水の神)	1966年	ブロンズ	90×67×58
飯田善国	星と人間の間	1972年	ステンレス	1000×450×450
館野弘青	微笑	1974年	ブロンズ	180×60×46
堀内正和	ジグザグ立方体	1974年	ステンレス	106×216.5×106
関根伸夫	空相一円錐	1974年	黒御影石	120×120×120
保田春彦	ある街の片隅、忘れられた祠	1974年	花崗石、ステンレス	100×50×100
速水史朗	太陽の門	1978年	マンナリー石	300×128×90
リチャード・ディーコン	カタツムリのように(A)	1987年	アルミニウム、鋼鉄	520×680×560
手塚登久夫	梟の森 2002	2002年	黒御影石、赤御影石	207×130×90

コレクション展Ⅱ 「ひんやり美術館」

展示期間= 令和6(2024)年7月13日(土)～10月3日(木) ※9月9日(月)～20日(金)は休館

もはや、「良い天気」は「悪い天気」ではないかと思われるほど亜熱帯化が進んでいる日本列島。本展では、その暑さを忘れさせてくれる(かもしれない)涼感豊かな作品を、様々なジャンルから紹介した。絵の中の登場人物になりきって涼しさを満喫したり、作品の色やかたち、質感から冷たさを感じたり…。最後のコーナーは「異界への旅」とし、「ゾクッ!ぶるっ!」とする作品を展示。暑い夏こそ輝きを増す、ひんやりとした美の世界を展開した。また、鑑賞の一助として本展を会場にワークショップ「美術館クイズ探検」と「ママパパ鑑賞応援デー」を開催し、未就学児や小中学生、その保護者に大変好評であった。

担当者= 鈴木さとみ(主任研究員)

出品リスト

作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	備考
■1階展示室					
【アートで避暑旅行】					
谷文晁	赤壁図	1826年	紙本墨画淡彩	178×94.5	
小泉斐	鮎図	1847年	絹本着色	96×35	寄託
橋本雅邦	初秋漁村図	不詳年	絹本着色	96.9×34.8	
田崎草雲	一棹揺山	1884年	絹本着色	132×56.5	
小杉放菴	長夏深柳	1919年頃	絹本墨画	139.5×50.8	
下村観山	漁樵問答	1909年頃	紙本着色	漁 135.8×54.3 樵 136.2×54.3	
小室翠雲	月下帰漁	不詳	絹本着色	143×42.4	
石川寒巖	魚釣		紙本着色	33.4×49	
小堀鞆音	伊勢観龍門瀑布図		絹本着色	144.5×48.5	
松本姿水	鷺と鴛鴦 (原題不詳)	制作年不詳	紙本着色	173×88(×2)	
木村了子	水禽図屏風一人魚狩り	2013年	紙本(鳥の子紙)／ 墨、金泥、水干絵具、マイカ金雲母、 膠(三千本膠・兔膠)	133×264	
木村了子	餃子ひとさら一益子やきもの軸	2021年	絹本／岩絵具、水干絵具、胡粉、金・ 銀泥、天然染料(矢車の実)、油煙墨、 膠(三千本膠・兔膠)	160×52	
【涼をまとう — 東洋編】					
菊川京三	懐月堂安度作 蚊帳美人図	不詳	紙、多色刷木版	23.8×28.9	
菊川京三	山口素絢作 美人戯猫図	不詳	紙、多色刷木版	35.8×16.6	

菊川京三	喜多川歌麿 納涼美人図	1928年	紙、多色刷木版	22×36	
菊川京三	鈴木春信作 水売り	不詳	紙、水彩	25.3×19.4	
【水のかたちⅠ】					
川上澄生	「日本新八景版画第一集 華巖滝及其他」 華巖滝	1929年	紙、木版多色刷	23.2×17.2	
笹島喜平	龍頭の滝	1975年	紙、木版、拓刷	49×48	
伊東正次	滝図	2021年	麻紙／岩絵具、 墨、ペン	116.7×80.3	
浅葉雅子	北斎きりふり乃滝鉢にいちご	2021年	雲肌麻紙／水干絵 具、岩絵具、アクリ ル絵具、墨、銀箔 ／コラージュ、その 他和紙	145.5×112	
向井潤吉	雪（ある記録画五題の内） （日光中宮祠戦場ヶ原）	1947年	カンヴァス、油彩	73.3×99.8	
塚原哲夫	アマ・ダブラム	1980年	紙本着色	130×163	
【涼を呼ぶ工芸】					
濱田庄司	青釉白格子描大鉢	1957年	陶	16×58	
島岡達三	塩釉象嵌縄文壺	1981年	陶	35×27.5	
田村耕一	鉄絵銅彩ほたる袋文大皿	1986年	陶	10.3×46.7	
加守田章二	灰釉大鉢	1967年頃	陶	29.5×46	
瀬戸浩	灰釉焼メ銀ストライプ壺	1987年	陶	43×46	
三井安蘇夫	緑影	1975年	銅、鍛金	50×50×25	
飯塚琅玕齋	花籃 千條	1939年頃	竹	39×48.7×31.8	後期
飯塚小玕齋	鳳尾竹手付盛花籃 せせらぎ	1998年	竹	24×41×26	
勝城蒼鳳	柁割曲線摺漆花籃 瀧	2009年	竹	45×37×27	前期
鈴木光爾	黒柿拭漆切子面箱	不詳	木、金	11.5×23.5	寄託・前期
鈴木光爾	縞黒檀八角切子面の箱「月彩」	不詳	木、金	10.5×26.5×26.5	寄託・後期
宮原隆岳	螺鈿平文飾箱	2017年	漆、螺鈿	9×30×12	
日下田博	草木染屏風	1982年	染色	98×185	前期
鈴木光爾	桑緑風炉先「響」	1981年	木	72.5×182×1.7	寄託・後期
岩田藤七	花器	1975年頃	ガラス、宙吹き	34×14×13.5	
岩田藤七	貝	1974年	ガラス、宙吹き	12.5×31.5×31	
岩田久利	水指	1992年	ガラス、宙吹き	19×16	
岩田久利	花器	1983年	ガラス、宙吹き	32×18×13	
岩田久利	花器	1989年	ガラス、宙吹き	33.5×24.5×23.5	

濱田能生	瑠璃硝子口透花瓶	1982年	ガラス	25×18×18
濱田能生	銀黄硝子十字紋鉢	1982年	ガラス	10.7×23.3×23.3

■1階 大壁面周辺の立体作品

デイヴィッド・ナッシュ	テーブルと椅子	1984年	木(カバ)	240×340×340
デイヴィッド・ナッシュ	歩く梯子	1984年	木(ニレ)	218×190×64
高木修	Untitled	1993年(2016年再制作)	鉄	136×570×111
青木秀憲	宙シリーズ-飛翔2001	2001年	アルミニウム	180×110×50
篠田守男	クロンボルグ城 T-C4305	1974年	アルミニウム、ワイヤー、真鍮	104×250×150
和久奈南都留	ふるさと	1980年	御影石	100×100×100

■2階展示室

【モノクロームの世界】

柄澤齊	『死と変容』第1集 夜 I-4 夢または流刑	1986-88年	紙、木口木版	15.6×21.1
柄澤齊	『死と変容』第1集 夜 I-7 水	1986-88年	紙、木口木版	24.5×21.1
柄澤齊	『死と変容』第1集 夜 I-20 ボート	1986-88年	紙、木口木版	11.4×16.5
柄澤齊	『死と変容』第2集 洪水 II-14 睡り B	1989-90年	紙、木口木版	12.7×17.8
柄澤齊	『死と変容』第2集 洪水 II-18 陳列室	1989-90年	紙、木口木版	24.6×21.2
岡上淑子	記憶への道	1951年	紙、コラージュ	28.4×26.3
岡上淑子	水族館	1952年	紙、コラージュ	28.9×23.1
岡上淑子	戦士	1952年	紙、コラージュ	32.4×25.6
岡上淑子	眠り	1955年	紙、コラージュ	27.8×26.1
岡上淑子	美学	1952年	紙、コラージュ	32.3×24.7

【西洋画 水辺の風景】

アルフレッド・シスレー	冬の夕日(サン=マメスのセーヌ河)	1882-1883年	カンヴァス、油彩	50×65
J.M.W.ターナー	風景、タンパリンをもつ女	1840-50年頃	カンヴァス、油彩	88.5×118
リチャード・ウィルソン	アクア・アチエトーサ	1754年頃	カンヴァス、油彩	99.1×137.2
カミーユ・コロー	ヴィル=ダヴレーの池(洗濯女たちと水飼場に来る馬)	1847年	カンヴァス、油彩	85×100
コンスタン・トロワイヨン	水を渡る牛(帰途)	1855-60年頃	カンヴァス、油彩	76.5×98

【涼をまとう — 西洋編】

ガヴァルニ	作品アルバム『アルティスト』『シャリヴァリ』より	1835-39年	紙、リトグラフ	19.8×15.7	2点
ヴェンツェル・ホラー	『四季(四分の三半身の女性像)』より「夏」	1641年	紙、エッチング	25×17.9	全4点のうち1点

【冷たい〇〇】

藤田嗣治	花を持つ少女	1918年	カンヴァス、油彩	65×54	
清水登之	主婦と下男	1926年	カンヴァス、油彩	116.7×91	
イケムラレイコ	顔(夜景)	1997年	カンヴァス、油彩	50×50	
豊島弘尚	例えば未生・IV “宙の花” 〈海の樹・I〉	1997年	カンヴァス、油彩	227.3×181.8	
早瀬龍江	苦悩	1956年	カンヴァス、油彩	91×72.7	
中川政昭	フォーエヴァー	1986年	ゼラチンシルバー プリント、割れたガラ ス乾板、瓶	11.2×56×121	
オノデラユキ	古着のポートレート No.32	1996年	ゼラチンシルバー プリント、割れたガラ ス乾板、瓶	115×115	
三島喜美代	COPY-NEWS PAPER-F	1980年	陶、シルクスクリー ン	43×28×13	

【風に吹かれて】

川上澄生	初夏の風	1926年	紙、木版多色刷	22.8×35	
川上澄生	風船乗り	1927年	紙、木版多色刷	19.2×24	
川上澄生	飛んでいる昆虫	1932年	紙、木版多色刷	17.5×14.2	
川上澄生	蚕船図	1939年	紙、木版単色刷、 手彩色	39.5×29.5	
秋岡美帆	See (Blow the Wind)	1984年	カンヴァス、NECOプ リント	200×145.5	
渡辺豊重	時雨になるとき I	2009年	韓紙、青墨、松煙、 木炭、アクリル、パ ステル	63.5×94	
渡辺豊重	時雨になるとき III	2009年	韓紙、青墨、松煙、 木炭、アクリル、パ ステル	63.5×94	

【水のかたち II】

上田薫	あわG	1979年	カンヴァス、油彩	182×227	
デイヴィッド・ホック ニー	島	1971年	カンヴァス、アクリル	152.4×182.9	
木村秀樹	フロム・ザ・グリーン・グラス7	1985年	シルクスクリーン、混 合技法	50×30×35	

【異界への旅】

小山田二郎	夜(姉妹)	1958年	紙、水彩	33.5×24.4
小山田二郎	妄執	1975年	紙、水彩	51.5×36.4
小山田二郎	鳥になった子供	1976年	紙、水彩	72.6×51.5
小山田二郎	森の雅人	1978年	紙、水彩	72.7×51.6
松本竜	坂	1976年	カンヴァス、油彩	130.3×97
橋本龍美	野火	1971年	紙本着色	82.3×136
若佐慎一	百目鬼:今までもこれからも全てお見通し	2021年	和紙/岩絵具	130.6×89.6
服部しほり	日光補陀落山縁起図	2021年	紙本着色、金箔、銀箔	221×91

■2階展示室の立体作品

神山明	伝説	1989年	杉、オイルステイン	147×99×99
伊藤公象	収縮性小曲面体	1980年 (再制作93年)	陶、アクリル	61.5×107.3×130
篠原有司男	モーターサイクル・ママ	1973年	カードボード、 ポリエステル樹脂	158×235×128

《伊東直子マイセン磁器コレクション》

マイセン磁器	色絵神話人物群像「アンフィトリテの勝利」	19世紀後半	磁	高44.6×幅54
マイセン磁器	色絵楽奏猿群像「猿のオーケストラ」	1766-18世紀末	磁	高16.5(22種23ヶ)
マイセン磁器	赤絵楽奏人物群像	1924-34年頃	磁	高29.6(4ヶ)
マイセン磁器	色絵ブット像「夏と秋の寓意」	1770年頃	磁	高23.6×幅21.5
マイセン磁器	藍地金彩色絵花卉宮廷人物図植木鉢	19世紀末	磁	高28.2×21.3(2ヶ)
マイセン磁器	色絵燭台ポプリ壺付暖炉用センターピース	1782-90年頃	磁	57.2×32.8(2ヶ)
マイセン磁器	色絵ブット立像「漁師」	18世紀後半	磁	高14.3×幅23.3
マイセン磁器	黒地ベットガー炆器赤絵金彩人物図瓶	1710-15年頃	磁	12.5×10.3
マイセン磁器	色絵人物像「羊飼いと羊にのるブット」	18世紀後半	磁	高10.4×幅12.8
マイセン磁器	色絵金彩人物図蓋付双耳鉢、受皿	1725-30年頃	磁	鉢高9.1受皿径13.8
マイセン磁器	色絵神話人物像「ウェヌス、アドニスとクピド」	1750-60年代	磁	高15.0×幅14.4
マイセン磁器	色絵金彩人物図ティーポット	1735年頃	磁	高9.7×幅16
マイセン磁器	色絵花卉図ポプリ壺・アモル立像「着衣のアモル」・花飾り	1750-60年代	磁	高21×幅23.5
マイセン磁器	色絵人物図カップ&ソーサー	1730-40年代	磁	カップ高4.6×径7.7、 ソーサー径13.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「大地の寓意 フローラ」	1760年頃	磁	高16×幅15

マイセン磁器	金彩樹下人物図カップ&ソーサー「金の中国人」	1730年頃	磁	カップ高4.5×径7.7、 ソーサー径12.4
マイセン磁器	色絵ポプリ壺付群像「慈愛の寓意」	18世紀中頃	磁	高26.0×幅19
マイセン磁器	色絵花卉図輪花鉢	1730年代	磁	高4.5×径13
マイセン磁器	色絵梅鶉図輪花鉢	1774-1814年頃	磁	高5.2×径13.3
マイセン磁器	色絵東洋人坐像「ゆれるパゴダ像」	19世紀末	磁	17.9×18.5
マイセン磁器	色絵獅子昆虫花鳥図ズルコウスキー・オツイエルレリーフ皿	1735-45年頃	磁	5.8×34.6
マイセン磁器	色絵花飾鳥ブット像鏡	19世紀中頃か後半	磁	130×80
マイセン磁器	色絵花飾田園人物図蓋付双耳ポプリ壺	19世紀後半	磁	高63.5×幅37
マイセン磁器	色絵貼花飾狩猟図鹿浮彫蓋付パンチボウル	19世紀後半	磁	37×30.7
マイセン磁器	色絵オンドリ像	1922年か23年	磁	高37×幅18.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「愛の束縛」	19世紀後半	磁	高31.7×幅34.1

□常設館以外の展示作品

■玄関ロビー

多田美波	周波数FL10-6874	1968年	ステンレス、ミラーガラス	247×273
------	--------------	-------	--------------	---------

■集会室前

島田忠恵	O & U	1972年	ブロンズ、ステンレス	200×200×100
------	-------	-------	------------	-------------

■屋外展示(中庭)

エミール=アントワーン・ブールデル	ペネロペ	1907-12年	ブロンズ	240×90×70
島田忠恵	餓鬼	1971年	ブロンズ	350×280×100
高橋清	親和	1974年	御影石	250×258×175
清水九兵衛	Affinityの継続-A	1976年	アルミニウム	55×286×180
小林泰彦	インヴェンション(祈り)	1981年	ステンレス	224×68×57
杉浦康益	陶による石の群	1983年	陶器	50×40×40(×12)
青木秀憲	「いづみ」"IZUMI"	1981年	ステンレス	4.5×212×212
三木俊治	行列	1984年	ブロンズ、御影石	25×800×10

■野外彫刻

高橋清	Atlinemi(水の神)	1966年	ブロンズ	90×67×58
飯田善国	星と人間の間	1972年	ステンレス	1000×450×450

館野弘青	微笑	1974年	ブロンズ	180×60×46
堀内正和	ジグザグ立方体	1974年	ステンレス	106×216.5×106
関根伸夫	空相－円錐	1974年	黒御影石	120×120×120
保田春彦	ある街の片隅、忘れられた祠	1974年	花崗石、ステンレス	100×50×100
速水史朗	太陽の門	1978年	マンナリー石	300×128×90
リチャード・ディーコン	カタツムリのように(A)	1987年	アルミニウム、鋼鉄	520×680×560
手塚登久夫	鼻の森 2002	2002年	黒御影石、赤御影石	207×130×90

コレクション展III

「国立美術館 コレクション・プラス 刑部人とギュスターヴ・クールベ 風景画家たちの眼」

展示期間＝ 令和6(2024)年10月26日(土)～12月22日(日)

本展は、国立美術館連携事業「国立美術館 コレクション・プラス」の第1回事業として採択され、実施したものである。刑部人(1906-1978)は、栃木県下都賀郡都賀町(現在の栃木市)に生まれた画家で、日本の風景を様々な角度から描いた。その根底には19世紀フランス美術、特にギュスターヴ・クールベ(1819-1877)をはじめとした風景画家たちへの憧憬があり、その影響は刑部の作品にも表れている。本展では、国立西洋美術館所蔵のギュスターヴ・クールベ作品2点を借用し、当館所蔵の刑部人作品と併せて展示をすることで、その影響の大きさについて検証した。

主催＝ 栃木県立美術館

特別協力＝ 国立西洋美術館、国立アートリサーチセンター

担当者＝ 武関彩瑛(主任)

出品リスト

作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	備考
-----	-----	-----	-------	--------	----

■1階展示室 企画展「水墨の魔術師 浦上玉堂」第2章

■1階 大壁面周辺の立体作品

デイヴィッド・ナッシュ	テーブルと椅子	1984年	木(カバ)	240×340×340	
デイヴィッド・ナッシュ	歩く梯子	1984年	木(ニレ)	218×190×64	
高木修	Untitled	1993年(2016年再制作)	鉄	136×570×111	
青木秀憲	宙シリーズ-飛翔2001	2001年	アルミニウム	180×110×50	
篠田守男	クロンボルグ城 T-C4305	1974年	アルミニウム、ワイヤー、真鍮	104×250×150	
和久奈南都留	ふるさと	1980年	御影石	100×100×100	

■2階展示室

【19世紀フランスの版画】

オノレ=ヴィクトラン・ドーミエ	チュイルリー宮殿のパリッ子	1848年	紙、リトグラフ	25.3×22.5	
オノレ=ヴィクトラン・ドーミエ	マドレーヌ=バステューユ間	1862年	紙、リトグラフ	24.3×22	
ガヴァルニ	作品アルバム『アルティスト』『シャリヴァリ』より	1835-39年	紙、リトグラフ	19.8×15.7	
ギュスターヴ・ドレ	ダンテ『地獄篇』	1861年	紙、木口木版	43.8×31.4	
ギュスターヴ・ドレ	セルバンテス『ドン・キホーテ』	1863年(刊行1869年)	紙、木口木版	37.6×27.6	

アンリ・ファンタン＝ラ トゥール	ベルリオーズ頌	1888年	紙、リトグラフ	31.8×22.6
---------------------	---------	-------	---------	-----------

【西洋絵画】

アルフレッド・シス レー	冬の夕日 (サン＝マメスのセーヌ河)	1882-1883年	カンヴァス、油彩	50×65
J.M.W.ターナー	風景、タンバリンをもつ女	1840-50年頃	カンヴァス、油彩	88.5×118
ジョン・コンスタブル	デダムの谷	1805-17年頃	カンヴァス、油彩	52.8×44.8
カミーユ・コロー	ヴィル＝ダヴレーの池 (洗濯女たちと水飼場に来る馬)	1847年	カンヴァス、油彩	85×100
ポール・ユエ	谷	19世紀前半	カンヴァス、油彩	30.5×49.5
コンスタン・トロワイヨン	水を渡る牛 (帰途)	1855-60年頃	カンヴァス、油彩	76.5×98

【現代美術がフランスと出会うとき】

野村耕	ルソーによるデフォルメ	1976年	印刷物、コラージュ	145.2×75
青木世一	ルソー・キット「フットボールをする人々」	2003年	シナベニヤ、アクリル	180×300×200
青木世一	参考展示:「パリ夜街」キット			
清水登之	パリ夜街	1926年	カンヴァス、油彩	88.9×116.2
福田美蘭	ルノワール“日なたの裸婦”	1996年	油彩、板、額縁	35×29(5点組)

【クールベへのトリビュートI 波をかたどる】

加納光於	『波動説』NO.13	1984-1985年	紙、カラーインタリオ	45×62
堂本尚郎	連鎖反応／水・1	1983年	紙、リトグラフ	54.5×72.7
堂本尚郎	連鎖反応／水・4	1983年	紙、リトグラフ	59.6×79.6
畦地拓治	CARVING-WAVE 波を彫る	1983年	木、大理石、銅、アルミニウム、アクリル にシルクスクリーン	95×410
島岡達三	地釉象嵌木理文壺	1973年	陶	23.2×27×23
島岡達三	刷毛目楡目文扁壺	1974年	陶	21×13.4×7
島岡達三	刷毛目竹文扁壺	1974年	陶	27.6×20×15.5
松井茂	量子詩 第672番	2015年	紙、シルクスクリーン	85×64.8
松井茂	QUANTAM POEM No.672	2015年	紙、シルクスクリーン	85×64.8

【国立美術館 コレクション・プラス 刑部人とギュスターヴ・クールベー風景画家たちの眼】

ギュスターヴ・クール ベ	雪景色		カンヴァス、油彩	32.8 × 46.4
-----------------	-----	--	----------	-------------

国立西洋美術館蔵

ギュスターヴ・クールベ	波	1870年頃	カンヴァス、油彩	72.5 × 92.5	国立西洋美術館蔵
刑部人	水門	1949年	カンヴァス、油彩	90.7×116.4	
刑部人	断崖	1950年	カンヴァス、油彩	91.3×116.5	
刑部人	三瀬海岸	1953年	カンヴァス、油彩	80.5×130.5	
刑部人	銚子海岸	1955年	カンヴァス、油彩	53×65.3	
刑部人	塩原紅葉	1960年代後半	カンヴァス、油彩	45.5×38	
刑部人	溪流(塩原)	1971年	カンヴァス、油彩	45.5×53	

【クールベへのトリビュートII 獵をする人々】

アントワーヌ・ヴァトー (原画)、G・スコタン (版刻)	田園の遊樂	1729年	紙、エッチング	30.7×43.2
マイセン磁器	色絵狩獵男女像	1800-25年頃	磁	23.3×28.6

■2階展示室の立体作品

神山明	伝説	1989年	杉、オイルステイン	147×99×99
伊藤公象	収縮性小曲面体	1980年 (再制作93年)	陶、アクリル	61.5×107.3×130
篠原有司男	モーターサイクル・ママ	1973年	カードボード、 ポリエステル樹脂	158×235×128

《伊東直子マイセン磁器コレクション》

マイセン磁器	色絵楽奏猿群像「猿のオーケストラ」	1766-18世紀 末	磁	高16.5(22種23ヶ)
マイセン磁器	赤絵楽奏人物群像	1924-34年頃	磁	高29.6(4ヶ)
マイセン磁器	色絵ブット像「夏と秋の寓意」	1770年頃	磁	高23.6×幅21.5
マイセン磁器	藍地金彩色絵花卉宮廷人物図植木鉢	19世紀末	磁	高28.2×21.3(2ヶ)
マイセン磁器	色絵燭台ポプリ壺付暖炉用センターピース	1782-90年頃	磁	57.2×32.8(2ヶ)
マイセン磁器	色絵ブット立像「漁師」	18世紀後半	磁	高14.3×幅23.3
マイセン磁器	黒地ベットガー炆器赤絵金彩人物図瓶	1710-15年頃	磁	12.5×10.3
マイセン磁器	色絵人物像「羊飼いと羊にのるブット」	18世紀後半	磁	高10.4×幅12.8
マイセン磁器	色絵金彩人物図蓋付双耳鉢、受皿	1725-30年頃	磁	鉢高9.1受皿径13.8
マイセン磁器	色絵神話人物像「ウェヌス、アドニスとクビド」	1750-60年代	磁	高15.0×幅14.4
マイセン磁器	色絵金彩人物図ティーポット	1735年頃	磁	高9.7×幅16
マイセン磁器	色絵花卉図ポプリ壺・アモル立像「着衣のアモル」・花飾り	1750-60年代	磁	高21×幅23.5

マイセン磁器	色絵人物図カップ&ソーサー	1730-40年代	磁	カップ高4.6×径7.7、 ソーサー径13.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「大地の寓意 フローラ」	1760年頃	磁	高16×幅15
マイセン磁器	金彩樹下人物図カップ&ソーサー「金の中国人」	1730年頃	磁	カップ高4.5×径7.7、 ソーサー径12.4
マイセン磁器	色絵ポプリ壺付群像「慈愛の寓意」	18世紀中頃	磁	高26.0×幅19
マイセン磁器	色絵花卉図輪花鉢	1730年代	磁	高4.5×径13
マイセン磁器	色絵梅鶉図輪花鉢	1774-1814年頃	磁	高5.2×径13.3
マイセン磁器	色絵東洋人坐像「ゆれるパゴダ像」	19世紀末	磁	17.9×18.5
マイセン磁器	色絵獅子昆虫花鳥図ズルコウスキー・オツイエルレリーフ皿	1735-45年頃	磁	5.8×34.6
マイセン磁器	色絵花飾鳥ブット像鏡	19世紀中頃か後半	磁	130×80
マイセン磁器	色絵花飾田園人物図蓋付双耳ポプリ壺	19世紀後半	磁	高63.5×幅37
マイセン磁器	色絵貼花飾狩猟図鹿浮彫蓋付パンチボウル	19世紀後半	磁	37×30.7
マイセン磁器	色絵オシドリ像	1922年か23年	磁	高37×幅18.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「愛の束縛」	19世紀後半	磁	高31.7×幅34.1

□常設館以外の展示作品

■玄関ロビー

多田美波	周波数FL10-6874	1968年	ステンレス、ミラーガラス	247×273
------	--------------	-------	--------------	---------

■集会室前

島田忠恵	O & U	1972年	ブロンズ、ステンレス	200×200×100
------	-------	-------	------------	-------------

■屋外展示(中庭)

エミール=アントワーヌ・ブールデル	ペネロペ	1907-12年	ブロンズ	240×90×70
島田忠恵	餓鬼	1971年	ブロンズ	350×280×100
高橋清	親和	1974年	御影石	250×258×175
清水九兵衛	Affinityの継続-A	1976年	アルミニウム	55×286×180
小林泰彦	インヴォケーション(祈り)	1981年	ステンレス	224×68×57
杉浦康益	陶による石の群	1983年	陶器	50×40×40(×12)
青木秀憲	「いずみ」"IZUMI"	1981年	ステンレス	4.5×212×212
三木俊治	行列	1984年	ブロンズ、御影石	25×800×10

■野外彫刻

高橋清	Atlinemi(水の神)	1966年	ブロンズ	90×67×58
-----	---------------	-------	------	----------

飯田善国	星と人間の間	1972年	ステンレス	1000×450×450
館野弘青	微笑	1974年	ブロンズ	180×60×46
堀内正和	ジグザグ立方体	1974年	ステンレス	106×216.5×106
関根伸夫	空相一円錐	1974年	黒御影石	120×120×120
保田春彦	ある街の片隅、忘れられた祠	1974年	花崗石、ステンレス	100×50×100
速水史朗	太陽の門	1978年	マンナリー石	300×128×90
リチャード・ディーコン	カタツムリのように(A)	1987年	アルミニウム、鋼鉄	520×680×560
手塚登久夫	梟の森 2002	2002年	黒御影石、赤御影石	207×130×90

コレクション展Ⅳ 「明治・大正の絵画」

展示期間＝ 令和7(2025)年1月18日(土)～3月23日(日)

本展は、当館が所蔵する明治・大正時代の絵画を、近代日本美術史上の重要なトピックをもとに、「歴史画」「海を渡った洋画家」「南画」「裸体画」などの8つのテーマで紹介したものである。さらに、1階展示室では、同時開催の企画展「よむ あむ うつす 勝城蒼鳳一人間国宝に訊く竹の道」に合わせて、明治・大正時代に活躍した初代飯塚鳳齋・飯塚琅玕齋の竹工芸も紹介した。

また、会期中に開催された「親と子のための美術鑑賞教室」では、「屏風」をテーマに作品鑑賞と屏風作りワークショップを行った。

担当者＝ 清水友美(研究員)

出品リスト

作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	備考
■1階展示室					
【実在する対象を描く】					
チャールズ・ワーグマン	茶屋女	1876(明治9)年	カンヴァス、油彩	51×39	
河野次郎	信陽松本深志城南堀之図	1884(明治17)年	紙、水彩	23.9×36	
河野次郎	植物習作	1883(明治16)年	紙、水彩、鉛筆	32.5×26.2	
河野次郎	マルメロ	1883(明治16)年	紙、水彩、鉛筆	32.6×26.7	
河野次郎	リンゴ	1883(明治16)年	紙、水彩	24×35.2	
河野次郎	植物習作	不詳	紙、水彩、鉛筆	34.5×25.4	
河野次郎	植物習作(バラとコップ)	1898(明治31)年	紙、水彩	38×29	
河野次郎	植物習作	不詳	紙、水彩、墨	33.5×23	
河野次郎	静物習作(イセエビ)	不詳	紙、水彩、墨	34×45.8	
河野次郎	キク	1880年代	紙、水彩、鉛筆	19.2×25.6	
河野次郎	麗春花	1880年代	紙、水彩、鉛筆	23.7×30.5	
五百城文哉	日光 本地堂(薬師堂)	1900(明治33)年前後	紙、水彩	49×66	
五百城文哉	百花百草図	1903(明治36)年頃	絹、水彩	144.5×48.5	
小杉放菴	日光東照宮	1900(明治33)年頃	紙・水彩	51×34	

【記録する絵画 —東北新道石版画—】

高橋由一	東北新道石版画 栃木県那須郡三島村新道より大田原地 方を望む図	1884(明治17)年	絹、石版画、手彩色	21.9×27.6	
------	---------------------------------------	-------------	-----------	-----------	--

高橋由一	東北新道石版画 山形県南置賜郡滝の沢の東より栗子隧道西口前行在所を望む図	1884(明治17)年	絹、石版画、手彩色	21.9×27.6	
高橋由一	東北新道石版画 山形県最上郡磐根新道の内草薙村字座頭顔隧道の図	1884(明治17)年	絹、石版画、手彩色	21.9×27.6	
高橋由一	東北新道石版画 山形県西田川郡赤川に架する三川橋図の貳	1884(明治17)年	絹、石版画、手彩色	21.9×27.6	
高橋由一	驟雨図	1877(明治10)年頃	カンヴァス(板貼)、油彩	45.5×76.2	

【近代歴史画の祖 小堀鞆音】

小堀鞆音	宇智野の雪	1898(明治31)年	絹本着色	179×97	寄託
小堀鞆音	神武天皇像	1900(明治33)年	絹本着色	111.1×43.2	寄託
小堀鞆音	尚武図	1913(大正2)年	絹本着色	116.5×41	
小堀鞆音	田原藤太秀郷像	1921(大正10)年	絹本着色	139.7×49.6	寄託
安田鞆彦	薩埵王子捨身図	1911(明治44)年頃	絹本着色	126×41.8	

【近代の南画】

田崎草雲	江山清遠図	明治時代	紙本着色	28.4×42.9	寄託
王欽古	山水	1887(明治20)年頃	絹本着色	136.4×55.9	
五百城文哉	春日山春景図(桃源図)	1890(明治23)年頃	カンヴァス、油彩	39.5×79	
小杉放菴	ブルターニュの村の八月	1914(大正3)年頃	絹、鉛筆、水彩	128×170	
小杉放菴	耶馬溪図	1922(大正11)年	絹本墨画	63×70.5	
石川寒巖	大正大地震大火災之巻	1923(大正12)年	紙本墨画	27.8×1,036	
石川寒巖	煙雨	1925(大正14)年	紙本墨画	168.9×172	
石川寒巖	晚晴	1925(大正14)年	紙本着色	168.4×172.4	寄託
石川寒巖	晚山残照図	1920年代前半	紙本着色	177.9×64.3	
石川寒巖	春景図	1920年代半ば	紙本着色	66.5×133	
石川寒巖	松林図	1924(大正13)年	紙本着色	101.5×146.5	
小室翠雲	秋景山水図屏風	1918(大正7)年	紙本着色金泥	107.3×369	寄託

【明治・大正の竹工芸】

飯塚鳳齋	花籃	制作年不詳	竹	45.8×27.1	
飯塚鳳齋	花籃	制作年不詳	竹	49×56	
飯塚鳳齋	花籃	1910-20年代	竹	24.5×28.5	
飯塚琅玕齋	花籃 まがき	1925(大正14)年頃	竹	31×28.5	
飯塚琅玕齋	花籃 不聞	1925(大正14)年頃	竹	19.2×24.6×36.4	

飯塚琅玕齋	花籃	1923(大正12)年頃	竹	33.9×35.5×26.5
飯塚琅玕齋	炭斗	1933(昭和9)年頃	竹	15×25.8
石川寒巖	釣人図	制作年不詳	紙本着色	126.2×28.3

■1階 大壁面周辺の立体作品

デイヴィッド・ナッシュ	テーブルと椅子	1984年	木(カバ)	240×340×340
デイヴィッド・ナッシュ	歩く梯子	1984年	木(ニレ)	218×190×64
高木修	Untitled	1993年(2016年再制作)	鉄	136×570×111
青木秀憲	宙シリーズ-飛翔2001	2001年	アルミニウム	180×110×50
篠田守男	クロンボルグ城 T-C4305	1974年	アルミニウム、ワイヤー、真鍮	104×250×150
和久奈南都留	ふるさと	1980年	御影石	100×100×100

■2階展示室

【世相を映す版画 —川上澄生—】

川上澄生	明治風俗	1968(昭和43)年	紙、木版多色刷	24.2×21.2
川上澄生	明治風俗	1959(昭和34)年	紙、木版単色刷、手彩色	21.5×14.5
川上澄生	女と洋燈(鹿鳴館) (女と洋燈十題 1)	1971(昭和46)年	紙、木版多色刷	24.2×21.2
川上澄生	明治女性風俗	1967(昭和42)年	紙、木版多色刷	22.8×15
川上澄生	西洋館	1922(大正11)年頃	紙、木版単色刷	22.7×32.5
川上澄生	横浜山手之図	1923(大正12)年	紙、木版単色刷	18×25.8
川上澄生	異国春光 横浜山手之図 (川上澄生創作版画輯 I)	1924(大正13)年	紙、木版単色刷	22.6×31.8
川上澄生	マドロスと女	1925(大正14)年頃	紙、木版単色刷	15.5×22.5

【西洋絵画】

シスレー・シスレー	冬の夕日(サン=マメスのセーヌ河)	1882-1883年	カンヴァス、油彩	50×65
J.M.W.ターナー	風景、タンバリンをもつ女	1840-50年頃	カンヴァス、油彩	88.5×118
リチャード・ウィルソン	アクア・アチエトーサ	1754年頃	カンヴァス、油彩	99.1×137.2
カミーユ・コロー	ヴィル=ダヴレーの池(洗濯女たちと水飼場に来る馬)	1847年	カンヴァス、油彩	85×100
コンスタン・トロワイヨン	水を渡る牛(帰途)	1855-60年頃	カンヴァス、油彩	76.5×98
ケイト・グリーナウェイ	『窓の下で』	1878年刊		24×18.8

【海へ渡った洋画家たち】

小杉放菴	アルハンブラの丘	1913(大正2)年	カンヴァス、油彩	36.5×44
清水登之	C嬢の肖像	1915(大正4)年	カンヴァス、油彩	116.7×72.7
清水登之	シャ・ノワール	1926(大正15)年	カンヴァス、油彩	80.5×53.5
川島理一郎	リュクサンブール公園	1925(大正14)年	カンヴァス、油彩	60.6×50
川島理一郎	ナポリよりポッツオリを望む	1925(大正14)年	カンヴァス、油彩	50×60
川島理一郎	パリ セーヌ河畔	1926(大正15)年	カンヴァス、油彩	31.8×40.9
古田土雅堂	街路	1921(大正10)年頃	カンヴァス、油彩	51×66
古田土雅堂	家庭	1922(大正11)年頃	カンヴァス、油彩	89×69
原勝郎	セーヌの風景	1920年代	カンヴァス、油彩	92×60

【裸体を描く】

川島理一郎	裸婦デッサン	1912(明治45)年	紙、木炭	61.7×48
川島理一郎	男	1912(明治45)年	紙、木炭	62.4×48
清水登之	裸婦A	1914(大正3)年	紙、木炭	47.9×63.4
清水登之	裸婦C	1914(大正3)年	紙、木炭	57.7×36.1
橋本邦助	秋の花	1907(明治40)年	カンヴァス、油彩	121.5×60.5
橋本邦助	裸体美人	1907(明治40)年	カンヴァス、油彩	121×91
刑部人	裸婦習作	1927(昭和2)年	カンヴァス、油彩	80.4×53
阿以田治修	女人鏡前	1929(昭和4)年	カンヴァス、油彩	114.9×134

【終わりゆく近代、変わりゆく画風】

清水登之	松江の茶館	1929(昭和4)年	カンヴァス、油彩	116.7×72.7
清水登之	白井夫人の肖像	1935(昭和10)年	カンヴァス、油彩	60.5×45.5
清水登之	江南戦場俯瞰	1939(昭和14)年	カンヴァス、油彩	180×302.9
清水登之	機関銃座	1943(昭和18)年	カンヴァス、油彩	116.7×91
川島理一郎	施米	1939(昭和14)年	カンヴァス、油彩	73×91
川島理一郎	金とモザイクの回廊	1941(昭和16)年	カンヴァス、油彩	60.6×50
川島理一郎	南方の蘭花園	1940年代	カンヴァス、油彩	61×50.2
刑部人	友人の肖像	1928(昭和3)年	カンヴァス、油彩	100×80.3
刑部人	黒衣の少女	1935(昭和10)年	カンヴァス、油彩	130×97
刑部人	機関銃隊	1944(昭和19)年	カンヴァス、油彩	130.5×161.3
小杉放菴	金太郎遊行	1944(昭和19)年	カンヴァス、油彩	150×136
川上澄生	消火訓練	1944(昭和19)年頃	紙、木版単色刷	28.5×34.5

■2階展示室の立体作品

神山明	伝説	1989年	杉、オイルステイン	147×99×99
伊藤公象	収縮性小曲面体	1980年 (再制作93年)	陶、アクリル	61.5×107.3×130
篠原有司男	モーターサイクル・ママ	1973年	カードボード、 ポリエステル樹脂	158×235×128

《伊東直子マイセン磁器コレクション》

マイセン磁器	色絵ブット像「春と冬の寓意」	1760年頃	磁	高25×幅18.5
マイセン磁器	色絵楽奏猿群像「猿のオーケストラ」	1766-18世紀末	磁	高16.5(22種23ヶ)
マイセン磁器	赤絵楽奏人物群像	1924-34年頃	磁	高29.6(4ヶ)
マイセン磁器	色絵ブット像「夏と秋の寓意」	1770年頃	磁	高23.6×幅21.5
マイセン磁器	藍地金彩色絵花卉宮廷人物図植木鉢	19世紀末	磁	高28.2×21.3(2ヶ)
マイセン磁器	色絵燭台ポプリ壺付暖炉用センター ピース	1782-90年頃	磁	57.2×32.8(2ヶ)
マイセン磁器	色絵ブット立像「漁師」	18世紀後半	磁	高14.3×幅23.3
マイセン磁器	黒地ベットガー炆器赤絵金彩人物図瓶	1710-15年頃	磁	12.5×10.3
マイセン磁器	色絵人物像「羊飼いと羊にのるブット」	18世紀後半	磁	高10.4×幅12.8
マイセン磁器	色絵金彩人物図蓋付双耳鉢、受皿	1725-30年頃	磁	鉢高9.1受皿径13.8
マイセン磁器	色絵神話人物像「ウェヌス、アドニスとク ビド」	1750-60年代	磁	高15.0×幅14.4
マイセン磁器	色絵金彩人物図ティーポット	1735年頃	磁	高9.7×幅16
マイセン磁器	色絵花卉図ポプリ壺・アモル立像「着衣 のアモル」・花飾り	1750-60年代	磁	高21×幅23.5
マイセン磁器	色絵人物図カップ&ソーサー	1730-40年代	磁	カップ高4.6×径7.7、 ソーサー径13.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「大地の寓意 フロー ラ」	1760年頃	磁	高16×幅15
マイセン磁器	金彩樹下人物図カップ&ソーサー「金 の中国人」	1730年頃	磁	カップ高4.5×径7.7、 ソーサー径12.4
マイセン磁器	色絵ポプリ壺付群像「慈愛の寓意」	18世紀中頃	磁	高26.0×幅19
マイセン磁器	色絵花卉図輪花鉢	1730年代	磁	高4.5×径13
マイセン磁器	色絵梅鶉図輪花鉢	1774-1814年頃	磁	高5.2×径13.3
マイセン磁器	色絵東洋人坐像「ゆれるパゴダ像」	19世紀末	磁	17.9×18.5
マイセン磁器	色絵獅子昆虫花鳥図ズルコウスキー・ オツィエルレリーフ皿	1735-45年頃	磁	5.8×34.6
マイセン磁器	色絵花飾鳥ブット像鏡	19世紀中頃か後半	磁	130×80

マイセン磁器	色絵花飾田園人物図蓋付双耳ポプリ壺	19世紀後半	磁	高63.5×幅37
マイセン磁器	色絵貼花飾狩猟図鹿浮彫蓋付パンチボウル	19世紀後半	磁	37×30.7
マイセン磁器	色絵オンドリ像	1922年か23年	磁	高37×幅18.4
マイセン磁器	色絵神話人物像「愛の束縛」	19世紀後半	磁	高31.7×幅34.1

□常設館以外の展示作品

■玄関ロビー

多田美波	周波数FL10-6874	1968年	ステンレス、ミラーガラス	247×273
------	--------------	-------	--------------	---------

■集会室前

島田忠恵	O & U	1972年	ブロンズ、ステンレス	200×200×100
------	-------	-------	------------	-------------

■屋外展示(中庭)

エミール=アントワーヌ・ブールデル	ペネロペ	1907-12年	ブロンズ	240×90×70
島田忠恵	餓鬼	1971年	ブロンズ	350×280×100
高橋清	親和	1974年	御影石	250×258×175
清水九兵衛	Affinityの継続-A	1976年	アルミニウム	55×286×180
小林泰彦	インヴォケーション(祈り)	1981年	ステンレス	224×68×57
杉浦康益	陶による石の群	1983年	陶器	50×40×40(×12)
青木秀憲	「いずみ」"IZUMI"	1981年	ステンレス	4.5×212×212
三木俊治	行列	1984年	ブロンズ、御影石	25×800×10

■野外彫刻

高橋清	Atlinemi(水の神)	1966年	ブロンズ	90×67×58
飯田善国	星と人間の間	1972年	ステンレス	1000×450×450
館野弘青	微笑	1974年	ブロンズ	180×60×46
堀内正和	ジグザグ立方体	1974年	ステンレス	106×216.5×106
関根伸夫	空相一円錐	1974年	黒御影石	120×120×120
保田春彦	ある街の片隅、忘れられた祠	1974年	花崗石、ステンレス	100×50×100
速水史朗	太陽の門	1978年	マンナリー石	300×128×90
リチャード・ディーコン	カタツムリのように(A)	1987年	アルミニウム、鋼鉄	520×680×560
手塚登久夫	梟の森 2002	2002年	黒御影石、赤御影石	207×130×90

■諸 表

1. 展覧会事業

(1) 企画展

No.	展覧会名	会期	実日数 (日)	出品点 数(点)	観覧者数 (人)	1日平均 (人)	内容
1	高橋由一から黒田清輝へ 明治洋画壇の世代交代劇	4月20日(土)～ 6月16日(日)	50	70	9,362	187	幕末から明治に招来した油絵を学び洋画壇を切り開いた高橋由一と、フランスに留学し「外光派」と呼ばれる新しい洋画をもたらした黒田清輝を中心に、時代を比較しながら明治洋画壇で起きた重要な世代交代劇を検証する。
2	ベル・エポック —美しき時代 パリ に集まった芸術家たち ワイズマン&マイケル・コレクションを中心に	7月13日(土)～ 9月8日(日)	50	264	6,548	131	映画「ディリリとパリの時間旅行」に着想を受け、20世紀フランスの輝けるベル・エポックの諸相を紹介する展覧会。油彩画だけではなく、ポスターや生活を彩る工芸品やファッション、貴重書といった豊富な資料を含む国内外の作品によって紹介。
3	第78回栃木県芸術祭美術展 洋画・彫刻・工芸	9月21日(土)～ 10月3日(木)	11	232	2,296	209	洋画・彫刻・工芸(共催：県、県文化協会)
4	水墨の魔術師 浦上玉堂 真の文人画家、ここにあり 岡山県立美術館コレクション—倉敷大原家伝来受像作品、関東初公開!	10月26日(土)～ 12月22日(日)	50	95	5,027	101	岡山藩の支藩鴨方藩士として生まれた浦上玉堂(1745-1820)の琴詩書画を紹介。玉堂の生誕地に建つ岡山県立美術館の所蔵作品、倉敷の素封家・大原家からの寄贈作品からなる玉堂の書画約90点を、関東で初めて公開。
5	よむ あむ うつす 勝城蒼鳳展 —人間国宝に訊く竹の道	令和7(2025)年 1月18日(土)～ 3月23日(日)	56	95	5,039	90	現・那須塩原市出身の重要無形文化財「竹工芸」保持者(通称「人間国宝」)、勝城蒼鳳(1934-2023)の追悼展。本展では、初期から晩年までの名品を、勝城の言葉などにも紹介。あわせて勝城が師事した八木澤啓造や齋藤文石、人間国宝・藤沼昇(1945-大田原市在住)の作品も紹介し、栃木が育んだ竹工芸の魅力を紹介。
計			217	756	28,272	130	

(2) 常設展

No.	展覧会名	会期	実日数 (日)	出品点 数(点)	観覧者数 (人)	1日平均 (人)	内容
1	コレクション展Ⅰ 始まりの美術	4月20日(土)～ 6月16日(日)	50	124	8,476	170	「ものごと、芸術家、美術館のはじまり」をテーマに、所蔵作品を紹介。
2	コレクション展Ⅱ ひんやり美術館	7月13日(土)～ 10月3日(木) ※9月9日(月)～ 20日(金)は休館	61	140	6,471	106	「ひんやり」「涼」をテーマに所蔵作品を紹介。子どもから大人にまで、美術館が初めての方にも楽しんでいただけるような教育普及イベントでの活用。
3	コレクション展Ⅲ 国立美術館 コレクション・プラス 刑部人とギュスターヴ・クールベ：風景画家たちの眼	10月26日(土)～ 12月22日(日)	50	89	5,616	112	現・都賀町出身の芸術家である刑部人が、ギュスターヴ・クールベから受けた影響を検証。独立行政法人国立美術館との連携事業「コレクション・プラス」を活用し、国立西洋美術館所蔵のクールベ作品を借用。刑部の作品や日記資料と合わせて展示。あわせて、「波」をテーマに所蔵作品を紹介。
4	コレクション展Ⅳ 明治・大正の絵画	令和7(2025)年 1月18日(土)～ 3月23日(日)	56	141	3,957	71	明治・大正時代に制作された所蔵作品の名品を紹介。企画展にちなみ、近代竹工芸のパイオニアである飯塚琅玕齋らの作品も紹介。
計			217	494	24,520	113	

2. 普及教育事業

(1) 普及教育プログラム(企画展・常設展関係)

No.	事業名	講師・出演者等	実施期日	会場	参加者数 (人)	内容
1	学芸員によるギャラ リー・トーク	講師:志田康宏 (主任)	4月20日(土)	企画展示室	50	「高橋由一から黒田清輝」 展にあわせて実施
			5月12日(日)		20	
			5月26日(日)		23	
			6月2日(日)		33	
2	講演	講師:古田亮(東京 藝術大学大学 美術館教授)	6月9日(日)	企画展示室	60	
3	学芸員によるギャラ リー・トーク	講師:大城茉里 恵(主任)	7月13日(土)	企画展示室	52	
			8月31日(土)		44	
4	記念講演会	講師:喜多崎親 (成城大学文芸 学部芸術学科教 授)	8月11日(日)	集会室	55	「バル・エポック」展にあわ せて実施
5	ママパパ鑑賞応援 デー	講師:当館普及 スタッフ	8月25日(日)	企画展示室	70	コレクション展Ⅱ「ひんやり 美術館」にあわせて実施
			9月1日(日)		75	
6	記念講演会	登壇者:守安收 (岡山県立美術 館館長)	10月26日(土)	集会室	66	「浦上玉堂」展にあわせて 実施
7	学芸員によるギャラ リー・トーク	講師:橋本慎司 (学芸課長)	10月26日(土)	企画展示室	50	
8	トーク&デモ	講師:浅見貴子 (日本画家)	11月23日(土)	集会室	37	「浦上玉堂」展にあわせて 実施。浅見氏による筆法に 関する講演と、筆草の体験 ワークショップを実施。
7	学芸員によるギャラ リー・トーク	講師:鈴木さとみ (主任研究員)	令和7(2025)年 1月18日(日)	企画展示室	120	「勝城蒼鳳」展にあわせて 実施
			2月2日(日)	企画展示室	37	
			3月2日(日)	企画展示室	60	
			3月16日(日)	企画展示室	50	
8	ミニワークショップ× 作品鑑賞	講師:鈴木さとみ (主任研究員)	2月9日(日)	集会室 企画展示室	16	
9	ワークショップ	講師:藤沼昇 (重要無形文化 財「竹工芸」保持 者)	3月9日(日)	企画展示室	21	

No.	事業名	講師・出演者等	実施期日	会場	参加者数 (人)	内容
10	美術館スタンプ・ラリー	自由観覧	会期中随時	企画展示室 常設展示室	13,586	幼・保・小・中学生だけではなく、大高生、一般の美術館利用を促進 年間に5回以上の利用者に記念品贈呈
11	音声ガイド	「浦上玉堂」展 「勝城蒼鳳」展	2024年10月26日 ～12月22日 2025年1月18日 ～3月23日	企画展示室	実施	来館者がスマートフォンから音声ガイドを入手する方法(ダウンロード)で実施する
12	作品ガイド 多言語化文字解説	主要作品	通年	常設展示室	実施	タブレット貸出しによる作品解説を提供
13	とちぎデジタルミュージアム 「SYUGYOKU」 音声ガイド	主要作品	通年	常設展示室	実施	来館者がQRコードを読み込む方法で実施
14	県美アートクルーズ	講師：当館普及 スタッフ	会期中随時	企画展示室 常設展示室	実施	県公用バスを利用して、申し込みをした小・中学校、高校まで送迎を行い、美術館鑑賞教育を支援
	鹿沼市立上南摩小学校	「ベル・エポック」 展	7月17日(水)	企画展示室	生徒	14
				常設展示室	引率	8
	栃木県立足利南高校	「ベル・エポック」 展	7月20日(土)	企画展示室	生徒	14
				常設展示室	引率	2
	宇都宮市立泉が丘中学校	「ベル・エポック」 展	7月26日(金)	企画展示室	生徒	27
				常設展示室	引率	2
	栃木県立茂木高校	「ベル・エポック」 展	8月23日(金)	企画展示室	生徒	20
				常設展示室	引率	1
	宇都宮市立雀宮東小学校	「浦上玉堂」展	11月26日(火)	企画展示室	生徒	42
常設展示室				引率	3	
栃木県立栃木特別支援学校	「浦上玉堂」展	12月17日(火)	企画展示室	生徒	11	
			常設展示室	引率	4	
栃木県立特別支援学校宇都宮青葉高等学園	「勝城蒼鳳」展	令和7(2025)年 1月30日(金)	企画展示室	生徒	36	
			常設展示室	引率	4	

(2) 普及教育プログラム

No.	事業名	講師・出演者等	実施期日	会場	参加者数 (人)	内容
1	先生のための美術館活用術	講師：当館普及スタッフ	随時	会議室	希望者なし	教職員を対象に美術鑑賞教育のさまざまな方法を提案、指導法を協議。
2	アートラウンジ さくら塾	講師： 鈴木武雄 (作新学院高等学校美術デザイン科講師) 本田悟郎 (宇都宮大学共同教育学部准教授) 花田千絵 (作新学院大学女子短期学部教授) 吉田利雄 (文星芸術大学教授) 名取初穂 (國學院大学栃木短期大学教授)	6月16日(日)	集会室	149	《ぴかぴかアクセサリを作ろう》 協力：作新学院高等学校美術デザイン科
			7月21日(日)	集会室	108	《マーブリングで表そうー不思議な模様で広がるイメージ》 協力：宇都宮大学共同教育学部
			8月18日(日)	集会室	95	《シルエット・ドローイング》 協力：作新学院高等学校美術デザイン科
			9月22日(日)	集会室	57	《スマホでコマ撮りアニメを作ろう》 協力：作新学院高等学校美術デザイン科
			12月15日(日)	集会室	62	《ステンシルでオリジナルカードを作ろう》 協力：作新学院大学女子短期学部
			令和7(2025)年1月19日(日)	集会室	65	《石膏を使って反転レリーフを作ろう》 協力：文星芸術大学
			令和7(2025)年2月23日(日)	集会室	70	《切って 描いて 焼いて 楽しい☆焼きプラ道場》 協力：國學院大學栃木短期大学
3	美術館 ふしぎ 発見！	講師：当館普及スタッフ	5月6日(月・祝)	常設展示室 屋外展示場	24	美術館の作品だけでなく建物や施設を紹介。
4	親と子のための美術鑑賞教室	講師：当館普及スタッフ	11月24日(日)	常設展示室 集会室	8	親子を対象としたミニワークショップ付鑑賞会。
			令和7(2025)年2月16日(日)		14	
5	夏休みワークショップ 「まるでマジック!! 魔法の絵本をつくってみよう」	講師：笹川アツコ (グラフィックデザイナー)	7月28日(日)	集会室	36	いろいろな紙を組み合わせさせて生まれる不思議なイリュージョン。講師が作成したオリジナルの本に貼り込み絵本を作成。

No.	事業名	講師・出演者等	実施期日	会場	参加者数(人)	内容
6	夏休み子ども企画 美術館クイズ探検	講師：当館普及 スタッフ	8月4日(日)	常設展示室	30	クイズを解きながら常設展 示を解説。学芸員実習生 との協働。
7	大人の図工室 「ひと味変わった鑑 賞体験？ 1920年のパリに時間 旅行！」	講師：青木世一 (造形作家)	11月10日(日)	集会室	7	ワークシートを用いた AOKITの制作。ペーパー クラフトによって清水登之 《パリ夜街》を立体化した。
			11月17日(日)		6	

(3) 学校への対応－1 社会見学等

No	事業名	実施期日	参加者数(人)
1	宇都宮市立国本中学校 宮っ子チャレンジ・ウィーク	9月4日(水)～6日(金)	2

(4) 学芸員実習

No	事業名	実施期日	参加者数(人)	所属大学
1	学芸員実習	7月30日(火)～8月4日(日)	4	学習院大学、東京家政大学、成城大学

(5) 社会教育への対応

No	事業名	講師・出演者等	実施期日	会場	参加者数(人)
1	栃木県シルバー大学校 「とちぎの美術」出講	講師：大城茉里恵 (主任)	4月24日(水)	栃木県シルバー大学校 中央校	98
2	栃木県シルバー大学校 「とちぎの美術」出講	講師：鈴木さとみ (主任研究員)	7月19日(金)	栃木県シルバー大学校 南校	85
3	栃木県シルバー大学校 「とちぎの美術」出講	講師：武関彩瑛 (主任)	8月29日(木)	栃木県シルバー大学校 中央校	104
4	栃木県シルバー大学校 「とちぎの美術」出講	講師：志田康宏 (主任)	9月3日(火)	栃木県シルバー大学校 北校	61

(6) 教育関係者との連携事業

No	事業名	実施期日	実施会場	参加者数(人)	備考
1	あーとネット・とちぎ 月例会	4月21日(日)	会議室	11	
2	あーとネット・とちぎ 月例会	5月26日(日)	会議室	5	
3	あーとネット・とちぎ 月例会	6月16日(日)	会議室	16	
4	あーとネット・とちぎ 月例会	7月21日(日)	会議室	17	
5	サマーミーティング	8月24日(土)	集会室	30	
7	あーとネット・とちぎ 月例会	9月22日(日)	会議室	5	
8	あーとネット・とちぎ 月例会	11月17日(日)	会議室	11	
9	あーとネット・とちぎ 月例会	12月15日(日)	会議室	13	
10	あーとネット・とちぎ 月例会	1月26日(日)	会議室	11	
11	あーとネット・とちぎ 月例会	2月23日(日)	会議室	16	
12	あーとネット・とちぎ 月例会	3月16日(日)	会議室	13	
計				148	

3. 所蔵作品集計表

種別	令和6年度新収蔵作品点数 ()内は所蔵総点数				
	購入	寄贈	保管転換	管理項目換	計
日本画	0 (113)	3 (345)	0 (20)	0 (1)	3 (479)
油彩画等	0 (337)	6 (428)	0 (13)	0 (0)	6 (778)
水彩・素描	0 (129)	1 (692)	0 (1)	0 (0)	1 (822)
版画	0 (2,261)	41 (2,400)	0 (0)	0 (3)	41 (4,664)
写真・映像	0 (60)	0 (71)	0 (0)	0 (6)	0 (137)
彫刻・立体	0 (96)	0 (88)	0 (1)	0 (1)	0 (186)
工芸	0 (186)	12 (543)	0 (9)	0 (0)	12 (738)
書	0 (5)	0 (15)	0 (1)	0 (0)	0 (21)
その他(版木・二次資料等)	0 (7)	7 (1,777)	0 (8)	0 (0)	7 (1,792)
計	0 (3,194)	70 (6,359)	0 (53)	0 (11)	70 (9,617)

水彩・素描には菊川京三の模写287点を含む。

その他には峰村北山資料86点を含む。

上記以外に基金財産として令和5年度取得のアルフレッド・シスレー《冬の夕日(サン＝マメスのセーヌ河)》を含む油彩画等3点を収蔵。

4. 令和6年度美術館利用者数

No.	事業名	人数(人)	内訳	人数(人)
1	展覧会事業	52,792	企画展	28,272
			常設展	24,520
2	普及教育事業	2,340	普及教育プログラム(企画展関係) ※スタンプラリー参加者数は除く	794
			普及教育プログラム(常設展・普及分館)	876
			学校への対応(社会見学、社会体験学習の受入)	170
			学芸員実習の受入	4
			社会教育への対応(栃木県シルバー大学 校への出講、合計4回、数字は受講者数)	348
			教育関係者との連携事業(アートネットとちぎ)	148
計		55,132		

■令和6(2024)年度新収蔵美術資料

寄贈美術資料

No.	作者名	生没年	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)	登録番号
日本画							
1	荒井寛方	1878-1945	文殊菩薩像	昭和初期頃	紙本金泥着色	121.3×38.5	5958
2	大貫徹心	1892-1958	春の山路	制作年不詳	絹本着色	44×51.4	5959
3	藁谷耕人	1927-2010	家路	1970年	紙本着色	200×240	5960
油彩画等							
4	長谷川春子	1895-1967	題不詳(女性像)	制作年不詳	カンヴァス、油彩	33×24	5961
5	東郷青児	1897-1978	浮遊する3人の女性	1969年	カンヴァス、油彩	184×437	5962
6	東郷青児	1897-1978	憩い	1973年	カンヴァス、油彩	350×180	5963
7	刑部人	1906-1978	北海道庁	1957年	カンヴァス、油彩	53×41	5964
8	渡辺豊重	1931-2023	動刻(起赤)	2016年	木、紙、アクリル、合板	128×72.7	5965
9	渡辺豊重	1931-2023	動刻(鏝)	2017年	木、紙、アクリル、鉄、松煙	54.5×72.7	5966
水彩・素描							
10	渡辺豊重	1931-2023	僕と太陽と鳥	1976年	紙、水彩	36×24.5	5967
版画							
11	鈴木賢二	1906-1987	ひなまつり	1975	紙、木版多色刷	13×19.5	5968
12	油井正次	1908-1998	和平簽名下郷 (平和署名が田舎に届く)	1950年代	紙、木版	29.5×28.5	5969
13	油井正次	1908-1998	土地取上げ反対運動	1954	紙、木版	31.3×43.7	5970
14	上野誠	1909-1980	犬を抱く少女	1953	紙、木版多色刷	36×22	5971
15	上野誠	1909-1980	不詳(かえる)	1953	紙、木版、	25×34	5972
16	上野誠	1909-1980	孫	1954	紙、木版多色刷	31×24.5	5973
17	上野誠	1909-1980	老人	1956	紙、木版	54.5×31.8	5974
18	上野誠	1909-1980	海を越える鳩	1969	紙、木版多色刷	12×16.3	5975
19	新居広治	1911-1974	高萩にて	1950	紙、木版	18×24.4	5976
20	新居広治	1911-1974	第26回メーデー 団結行進	1955	紙、木版多色刷	24×18.7	5977
21	新居広治	1911-1974	第26回メーデー 団結行進	1955	紙、木版	20.2×13.5	5978
22	新居広治	1911-1974	農夫	1956	紙、木版	41×25.5	5979
23	新居広治	1911-1974	日立	1956	紙、木版	23.2×16	5980
24	新居広治	1911-1974	題不詳	1956	紙、木版	25.5×19.6	5981
25	新居広治	1911-1974	老工夫	1956	紙、木版	38.5×26.2	5982

26	新居広治	1911-1974	老工夫	1956	紙、木版	38.5×26	5983
27	新居広治	1911-1974	デモ(日立)	1956	紙、木版多色刷	29.2×28.5	5984
28	新居広治	1911-1974	老農夫	1956	紙、木版	36×25.7	5985
29	新居広治	1911-1974	老農夫	1956	紙、木版	38.8×26.5	5986
30	新居広治	1911-1974	中国の女子兵士	1966	紙、木版	19.5×14.5	5987
31	新居広治	1911-1974	北京の城外で	1967	紙、木版	27.3×39.6	5988
32	新居広治	1911-1974	人民公社の一隅(上海)	1967	紙、木版	18×25	5989
33	新居広治	1911-1974	むすめ	1968	紙、木版多色刷	25×25	5990
34	新居広治	1911-1974	銃と収穫(ベトナム連作の内)		紙、木版	31×22.2	5991
35	新居広治	1911-1974	銃と収穫(ベトナム連作の内)		紙、木版	31×22.2	5992
36	新居広治	1911-1974	銃と収穫(ベトナム連作の内)		紙、木版	31×22.2	5993
37	新居広治	1911-1974	ベトナムの少女(連作の内)	1967年頃	紙、木版	30.5×20.5	5994
38	新居広治	1911-1974	ベトナムの少女(連作の内)	1967年頃	紙、木版	30.5×20.5	5995
39	村上暁人	1911-1998	死の灰	1954	紙、木版	32.5×22.5	5996
40	村上暁人	1911-1998	去りやらぬ不安	1954	紙、木版	27.5×35	5997
41	村上暁人	1911-1998	神戸地区の失業者	1955年頃	紙、木版多色刷	38.5×75.5	5998
42	飯野農夫也	1913-2006	下新田の人たち	1955	紙、木版	33.3×24	5999
43	滝平二郎	1921-2009	むすめ	1950	紙、木版多色刷	27×22.5	6000
44	滝平二郎	1921-2009	貼りこみ帳	1954	貼りこみ帳	29×21.3	6001
45	三井寿	1921-1988	不詳(農婦)	1950年代	紙、木版	27×21.3	6002
46	三井寿	1921-1988	老農夫	1954	紙、木版	18×14	6003
47	三井寿	1921-1988	農夫	1954	紙、木版	18×14	6004
48	三井寿	1921-1988	農夫	1954	紙、木版	14×8.8	6005
49	糸井哲夫	1933-	浜田先生生誕百年	1994	紙、木版	18.5×13	6006
50	浅野謙司		題不詳	1968	紙、木版多色刷	35.5×45.5	6007
51	浅野謙司		題不詳	1968	紙、木版多色刷	24.5×33.6	6008

工芸

52	伝皆川マス	1874-1960	山水土瓶		陶	21.5×24.5×18.5	6009
53	伝皆川マス	1874-1960	山水土瓶		陶	19.5×23.5×18.5	6010
54	伝皆川マス	1874-1960	山水土瓶		陶	19×19×15.5	6011

55	伝皆川マス	1874-1960	山水土瓶		陶	21.5×19.5× 14.5	6012
56	伝皆川マス	1874-1960	急須		陶	9.5×14×11	6013
57	伝皆川マス	1874-1960	湯呑(5点組)		陶	7×7.5	6014
58	伝皆川マス	1874-1960	山水図		紙本着色	17×14	6015
59	飯塚琅玕齋	1890-1958	花籃 家つと	1933年頃	竹	21.5×24×25	6016
60	八木澤啓造	1927-2006	千鳥編花籃	1995年	竹	23.5×23.5	6017
61	八木澤啓造	1927-2006	写経 煤竹花入	1997年	竹	16.5×10×7.5	6018
62	八木澤啓造	1927-2006	竹時雨花籃 静波	1999年	竹	12.5×35×33	6019
63	藤沼昇	1945-	花籃	1980年頃	竹	60×33×20	6020

その他

64	高見澤文雄	1948-1982	闇宙輝 山中信夫四回忌 三つ折りパンフレット	1985年頃	紙	30×30	6021
65	高見澤文雄	1948-1982	闇宙輝 山中信夫四回忌 三つ折りパンフレット	1985年頃	紙	39.5×39.5	6022
66	高見澤文雄	1948-1982	闇宙輝 山中信夫一周忌ポ スター	1983年頃	紙	51.8×72.8	6023
67	高見澤文雄	1948-1982	闇宙輝 山中信夫三回忌ポ スター	1984年頃	紙	73×52	6024
68	高見澤文雄	1948-1982	闇宙輝 山中信夫五回忌ポ スター	1986年頃	紙	79×54.5	6025
69	高見澤文雄	1948-1982	闇宙輝 山中信夫七回忌ポ スター	1988年頃	紙	79×54.5	6026
70	高見澤文雄	1948-1982	闇宙輝 山中信夫七回忌ポ スター	1988年頃	紙	79×54.5	6027

■美術資料貸出状況

No.	作者名	作品名	展覧会名	貸出先	会期
1	勝城蒼鳳	花籃「盛夏」	竹耕藝 勝城蒼鳳 —那須野が原に生きて—	益子陶芸美術館	2024年4月21日 ～ 2024年6月16日
2	勝城蒼鳳	捻編花文銘々皿	〃	〃	〃
3	勝城蒼鳳	篤竹摺漆盛籃「螢の里」	〃	〃	〃
4	勝城蒼鳳	柁割千集花文摺漆盛籃「花のゆめ」	〃	〃	〃
5	谷文晁	富嶽図屏風	メジャーもマイナーも大公開！とちぎ江戸絵画の底力～珠玉の上野記念館コレクション～	栃木県立博物館	2024年4月27日 ～ 2024年7月15日
6	谷文晁	夏山霽靄図	〃	〃	〃
7	谷文晁	富嶽図屏風	〃	〃	〃
8	谷文晁	孔雀図	〃	〃	〃
9	高隆古	二十四孝図屏風	〃	〃	〃
10	高隆古	蓮池水禽図屏風	〃	〃	〃
11	立原杏所	王右軍愛鷺図	〃	〃	〃
12	田崎草雲	吉田松陰・佐久間象山先生肖像	〃	〃	〃
13	田崎草雲	滝図	〃	〃	〃
14	田崎草雲	秋景平遠山水図	〃	〃	〃
15	田崎草雲	山水図屏風 双清(蘭竹図屏風)	〃	〃	〃
16	古川龍生	昆虫戯画卷 平和篇 豊年万作	春陽会誕生100年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ	碧南市藤井達吉現代美術館	2024年5月26日 ～ 2024年7月7日
17	古川龍生	昆虫戯画卷 平和篇 一村和平	〃	〃	〃
18	古川龍生	昆虫戯画卷 争闘篇 群虫密議	〃	〃	〃
19	古川龍生	昆虫戯画卷 新生篇 黄道吉日	〃	〃	〃
20	小杉放菴	松下人	〃	〃	〃
21	小川マリ子(マリ)	静物A	〃	〃	〃
22	モーリス・ドニ、A.ド・ヴィニー(詩)	『エロア』より	ベル・エポック—美しき時代 パリに集った芸術家たち ワイズマン&マイケル コレクションを中心に	山梨県立美術館 パナソニック汐留美術館	山梨会場: 2024年4月20日 ～ 2024年6月16日 東京会場: 2024年10月5日 ～ 2024年12月15日

23	ピエール・ボナール	『ピアノのための家族の情景集(C.テラス曲)』より	〃	〃	〃	〃
24	ジョルジュ・バルビエ	《夜の薔薇》『ガゼット・デュ・ボン・トン』より	〃	〃	〃	〃
25	マイセン磁器	《染付色絵ランブレカン模様花卉文フォーク、ナイフ》	〃	〃	〃	〃
26	マイセン磁器	《青彩鱗模様色絵樹下人物図カップ&ソーサー》	〃	〃	〃	〃
27	マイセン磁器	《青彩鱗模様色絵樹下人物図カップ&ソーサー》	〃	〃	〃	〃
28	マイセン磁器	《色絵楽奏家族像「コンサート」》	〃	〃	〃	〃
29	マイセン磁器	《色絵花飾ブット坐像燭台「四大元素の寓意」》	〃	〃	〃	〃
30	阿以田治修	南仏風景(エスタック)	日本が見たドニ、ドニの見た日本	新潟県立近代美術館	新潟会場: 2024年8月27日	～ 2024年10月20日
31	小杉放菴(未醒)	婦人立像	〃	久留米市美術館	福岡会場: 11月2日	～ 2025年1月13日
32	モーリス・ドニ	フランシス・トンブソン『詩集』のための挿絵(13点組)	〃	〃	〃	〃
33	川島理一郎	日劇壁画下絵(「天」、「地」、「動物と植物」)	特別展 昭和モダンモザイクのいろどり 板谷梅樹の世界	泉屋博古館東京	2024年8月31日	～ 2024年9月29日
34	ジョン・コンスタブル	デダムの谷	空の発見	渋谷区立松濤美術館	2024年9月14日	～ 2024年11月10日
35	チャールズ・ワグマン	海岸風景	〃	〃	〃	〃
36	柄澤齋	『死と変容』第2集 洪水より「洪水A」	〃	〃	〃	〃
37	柄澤齋	『死と変容』第2集 洪水より「洪水B」	〃	〃	〃	〃
38	柄澤齋	『死と変容』第2集 洪水より「洪水C」	〃	〃	〃	〃
39	野村仁	a spin in curved air	〃	〃	〃	〃
40	野村仁	a spin in curved air	〃	〃	〃	〃
41	田中一村	紅葉にるりかけす／雀	田中一村	東京都美術館	2024年9月19日	～ 2024年12月1日
42	田中一村	柳にかわせみ	〃	〃	〃	〃

43	清水登之	難民群	土偶とハニワの近代	東京国立近代美術館	2024年10月1日 ~ 2024年12月22日
44	羽石光志	土師部	〃	〃	〃
45	羽石光志	古墳	〃	〃	〃
46	羽石光志	古墳	〃	〃	〃
47	飯田善國	佐原六郎氏の肖像	飯田善國展 一色は光、光はことば	足利市立美術館	2024年11月16日 ~ 2024年12月26日
48	飯田善國	守屋謙二氏の肖像	〃	〃	〃
49	飯田善國	HITO	〃	〃	〃
50	飯田善國	作品No.8	〃	〃	〃
51	飯田善國	作品No.14	〃	〃	〃
52	清水登之	裸婦B	没後80年 清水登之	栃木市立美術館	2025年1月11日 ~ 2025年3月20日
53	清水登之	田中保像	〃	〃	〃
54	清水登之	ニューヨーク、セントラルパーク	〃	〃	〃
55	清水登之	チャプスイの水夫	〃	〃	〃
56	清水登之	オートマチック・ヴォードヴィル(プロクター座前)	〃	〃	〃
57	清水登之	ニューヨーク、夜のチャイナタウン	〃	〃	〃
58	清水登之	セーヌ河畔	〃	〃	〃
59	清水登之	パリ地下鉄停車場	〃	〃	〃
60	清水登之	マドリッドの散歩道	〃	〃	〃
61	清水登之	キャンプ	〃	〃	〃
62	清水登之	生家	〃	〃	〃
63	清水登之	大麻収穫	〃	〃	〃
64	清水登之	地に憩う	〃	〃	〃
65	清水登之	地に生きる	〃	〃	〃
66	清水登之	池畔	〃	〃	〃
67	清水登之	陶土の丘	〃	〃	〃
68	清水登之	芋畑	〃	〃	〃
69	清水登之	蛙と樽	〃	〃	〃
70	清水登之	江南戦跡	〃	〃	〃
71	清水登之	江南風景	〃	〃	〃
72	清水登之	難民群	〃	〃	〃

■学芸員研究業績等 2024年4月～2025年3月

橋本慎司(副館長兼学芸課長)

- 論 文 「雪村周継の常陸国における足跡について」『国華1545号』、国華社、2024年7月
- 編 集 『浦上玉堂一真の文人画家、ここにあり』図録、栃木県立美術館、2024年10月
- 論 文 「浦上玉堂—その絵画の特異性と魅力」『浦上玉堂一真の文人画家、ここにあり』図録、栃木県立美術館、2024年10月
- 論 文 「雪村はどこからきて、どこへいったのか」『開館50周年記念特別展 雪村 常陸に生まれし遊歴の画僧』展図録、茨城県立歴史館、2025年2月
- 講 演 「雪村はどこからきて、どこへいったのか」、茨城県立歴史館、2025年3月8日(土)※雪村展関連事業

鈴木さとみ(主任研究員)

- 編 集 『よむ あむ うつす 勝城蒼鳳—人間国宝に訊く竹の道』展図録、栃木県立美術館、2025年1月
- 論 文 「勝城蒼鳳の『竹耕藝』—竹と言葉が生み出す情景」『よむ あむ うつす 勝城蒼鳳—人間国宝に訊く竹の道』展図録、栃木県立美術館、2025年1月、pp.6-14
- 講 座 「東の琅玕齋—その作品と芸術性」、栃木市立美術館、2024年8月31日 ※「夏にたのしむ器 竹のかたち×陶のいろ」展関連事業
- 講 座 「栃木の竹工芸—飯塚琅玕齋と人間国宝を中心に」、栃木県シルバー大学校南校、2024年7月19日
- 審 査 委 員 「第27回全国竹芸展」審査委員、那須与一伝承館、2024年9月23日
- 鑑・審査委員 「第53回伝統工芸日本金工展」鑑・審査委員、谷中田美術、2025年3月14日
- 講 評 「デザイン賞 今給黎 浩子《月あかり》」、『第27回全国竹芸展』図録、2024年11月、p.27
- 解 説 記 事 「学芸員解説 県立美術館 勝城蒼鳳展」『下野新聞』、2025年2月15日
- 解 説 記 事 「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム 勝城蒼鳳『千筋捻摺漆花籃「漣」』」『下野新聞』2025年3月11日

志田康宏(主任(学芸員))

- 編 集 『高橋由一から黒田清輝へ—明治洋画壇の世代交代劇—』展図録、栃木県立美術館、2024年4月
- 論 文 「高橋由一の生涯とその画業—洋画壇を切り開いた先駆者」『高橋由一から黒田清輝へ 明治洋画壇の世代交代劇』図録、栃木県立美術館、2024年4月、pp.73-78
- 講 座 栃木県シルバー大学校北校「とちぎの「日本絵画」史」、2024年9月3日
- 講 座 氏家喜連川歴史文化研究会歴史講座「新資料でたどる荒井寛方の生涯」「ベンガル近代美術とタゴール家」、2024年12月21日

- エッセイ 「仏画とは？②岡倉天心と近代仏画の時代」『氏家喜連川 歴史と文化』第23号、氏家喜連川歴史文化研究会、2024年5月31日
- 解説記事 「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム 小杉放菴『松下人』」『下野新聞』2025年1月14日

大城茉里恵(主任(学芸員))

- 編集 『ベル・エポック―美しき時代 パリに集った芸術家たち ワイズマン&マイケルコレクションを中心に』図録、栃木県立美術館ほか、2024年4月
- コラム 「ミュシャのポスターに見る神聖なサラのイメージ」『ベル・エポック―美しき時代 パリに集った芸術家たち ワイズマン&マイケルコレクションを中心に』図録、栃木県立美術館ほか、2024年4月、pp. 178-179
- 講座 栃木県シルバー大学校中央校「とちぎの美術 栃木県の版画家たち」、2024年4月24日
- 解説記事 「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム ウォルター・クレイン『小豚の絵本』」『下野新聞』2025年2月11日

武関彩瑛(主任(学芸員))

- 編集 「栃木県立美術館 新収蔵作品 アルフレッド・シスレー《冬の夕日(サン＝マメスのセーヌ河)》」、パンフレット、栃木県立美術館、2024年4月
- 講座 栃木県シルバー大学校中央校「とちぎの美術 刑部人とギュスターヴ・クールベ」、2024年8月29日
- 論文 「刑部人とギュスターヴ・クールベ ―風景画家たちの眼」、パンフレット、栃木県立美術館、2024年10月
- 解説記事 「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム 飯田善國「星と人間の間」」『下野新聞』2024年10月8日
- 解説記事 「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム 渡辺豊重「三角シリーズ 深紅の中に富士を見た」」『下野新聞』2025年1月1日

清水友美(研究員)

- 論文 「黒田清輝の生涯とその画業―公と私のあいだを生きた画家」『高橋由一から黒田清輝へ 明治洋画壇の世代交代劇』図録、栃木県立美術館、2024年4月、pp.79-85
- 解説記事 「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム 小杉放菴「ブルターニュの村の八月」」『下野新聞』2024年12月20日

池田凧沙(研究員)

- 解説記事 「楽しく学ぼう！紙面ミュージアム アルフレッド・シスレー「冬の夕日(サン＝マメスのセーヌ河)」」『下野新聞』2024年11月12日

■名簿(令和7年3月31日現在)

栃木県立美術館評議員

学校教育関係者

- 副会長 佐藤 香 栃木県中学校教育研究会美術部会会長(小山市立豊田中学校校長)
 委員 宇賀神 俊彦 栃木県小学校教育研究会図画工作部会会長(宇都宮市立城山中央小学校校長)

社会教育関係者

- 会長 大野 斉子 宇都宮大学国際学部准教授

家庭教育関係者

- 委員 伊吹 桂子 家庭教育オピニオンリーダー連合会顧問

学識経験者

- 委員 岩崎 信 栃木県議会議員
 委員 齋藤 千明 白鷗大学教育学部教授・鹿沼市立川上澄生美術館館長
 委員 清水 和幸 (株)足利銀行 代表取締役頭取
 委員 杉村 浩哉 栃木市立美術館館長
 委員 手島 隆志 (株)下野新聞社役職待遇論説委員長

公募

- 委員 umi. 画家
 委員 島 一嘉 会社員

(分野別50音順)

職員

